

新しい **交通移動** として

リ・ホープ

Re×hopeは走ります

～本格運行に向けて、実証実験をします～

ちょっと
病院まで

ちょっと
ご近所まで

期間限定

無料運行

ちょっと
バス停まで

ちょっと
お買い物に

時速20km未満の
ゆっくり走行で、
散歩するように楽しい！

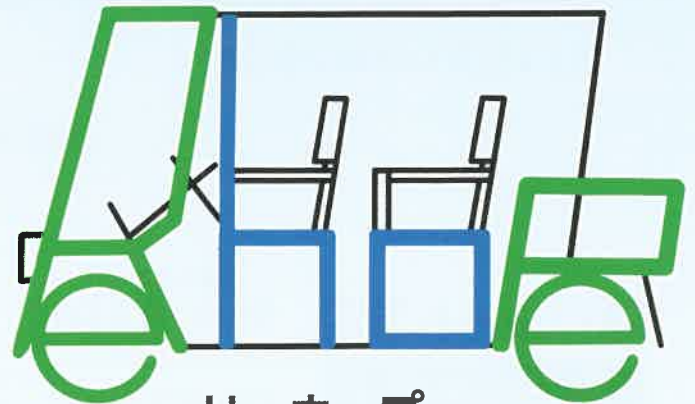
左右に風を感じる、
開放的な車内！

名前は
リ・ホープ
です!!



低床構造で
子どもから高齢者まで
誰もが乗りやすい！

グリーンスローモビリティ電動カート



リ・ホープとは

そこに住む人達が、
地域社会において、再び希望をもって、
生活できることを願い名付けました。



コンセプトムービー公開中!!



運行地区 ※日程・ルートは裏面をご参照下さい。

うぐいす台団地

法吉団地

比津ヶ丘団地

松江城

淞北台

運行
期間

9月2日 → 12月16日

運行日

月曜日～土曜日

運行期間中、時速20km未満で公道を走行するため、ご迷惑をおかけすることがあります。ご了承ください。



エコ×ユニバーサルな
松江のまちづくりを考える会



社会福祉法人

事務局

みずうみ

公益事業部

〒690-0860 松江市西法吉町36-28

TEL. 0852-33-7549



詳細な運行方法については、地域説明会等で随時お知らせ致します。
ご不明な点は事務局までお電話ください。

グリーンスローモビリティ 電動カート Re×hope

実証実験ご協力をお願い

皆様方には、日頃より、地域福祉のまちづくり推進に対するご理解とご協力を賜わり、謹んでお礼を申し上げます。このたび、交通エコロジー・モビリティ財団の事業採択により、国土交通省が推進するグリーンスローモビリティ(電動カート)を活用した「地域共助型モビリティ」の実証実験を、9月2日～12月16日までの間、下記運行エリアの通り、無償運行させていただきます。この試みは、人口減少社会の中、持続可能な交通移動の確保だけでなく、そこに住む人たちが外出する楽しさを共有するとともに、将来的には、まち歩き観光においても、活用できる乗り物だと考えています。期間中、安全に運行してまいりますので、是非、機会がありましたらご乗車して頂きますよう、宜しくお願い致します。

エコ × ユニバーサルな松江のまちづくりを考える会
会長 石原 智治

運行ルート予定

【運行時間※1】
9:00～18:00
までの間のいずれか。

9月2日(日) 運行開始日	全域【簡易ルート】
9月3日(月)～9月13日(木)	全域【簡易ルート】
9月15日(土)～9月17日(月)	不昧公200年祭【松江城内】※2
9月19日(水)～9月29日(土)	うぐいす台【循環型】
10月1日(月)～10月 4日(木) 10月9日(火)～10月13日(土)	法吉団地【循環型】
10月6日(土)	社会福祉法人みずうみ いきいき祭り(法吉町)※2
10月15日(月)～11月2日(金)	比津が丘団地【循環型】
11月24日(土)～11月25日(日)	湍北台【循環型】
11月5日(月)～12月16日(日)	全域【デマンド型】
11月10日(土)	社会福祉法人みずうみ あさひ乃苑 収穫祭(古志町)※2

※2…イベントの前後1日は運休いたします。

主な運行エリア



※1…電動カートの状況と各地域のニーズによって運行時間を決定します。
※予定が変更になる場合がございます。ご了承ください。
※雨天や強風時など、運行に危険が生じると判断した場合は運休となります。
※法吉神社前の運行は、安全面を考慮し10:00～16:00の間とします。

グリーンスローモビリティ 電動カート「Re×hope」実証実験

平成 30 年度 事前アンケート調査結果報告書



2018 年 10 月 13 日

1. 事前アンケート調査方法

実証実験対象となる地域は、法吉団地・比津が丘団地・湊北台・うぐいす台。

郵送又は、住民説明会などの際にアンケートを340世帯・800人程度にお渡しし、127名の方の回答を得た。

グリーンズローモビリティ 電動カートを(Remote Control)。
～地域社会において再び希望をもって生活できることを願い送ります～

実証実験 事前アンケート

電動カートの実証実験にあたり、大変お忙しいところにお邪魔して申し訳ありません。
以下の質問項目にのみお答えください。

①性別 男性・女性 ②年齢 (歳) ③新緑地帯居住 否・是
④居住区 (居住区)

⑤電動カートに利用するもの 自転車・バイク・自転車・徒歩・バス・タクシー
⑥その他 (記入可)

⑦電動カートの利用する目的 (複数回答可)

⑧電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑨電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑩電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑪電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑫電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑬電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑭電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑮電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑯電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑰電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑱電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑲電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

⑳電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉑電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉒電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉓電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉔電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉕電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉖電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉗電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉘電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉙電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉚電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉛電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉜電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉝電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉞電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㉟電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊱電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊲電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊳電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊴電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊵電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊶電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊷電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊸電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊹電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊺電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊻電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊼電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊽電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊾電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

㊿電動カートの利用する時間帯 (複数回答可)

2. 事前アンケート調査結果

2.1 単純集計結果

2.1.1 回答者の属性について

表 1 回答者の性別

性別	件数	割合
女性	69	54.3
男性	56	44.1
無回答	2	1.6
合計	127	100

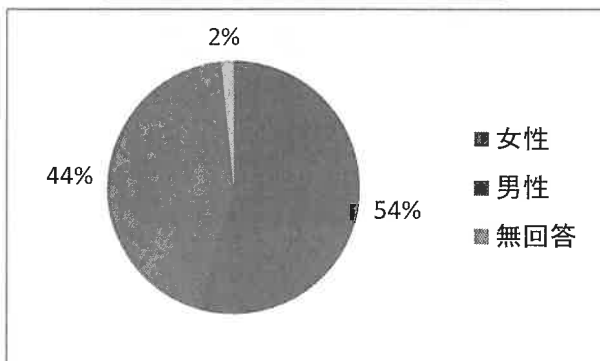


図 1 回答者の性別

事前アンケート回答者の割合は、女性が 54.3%、男性が 44.1%となり、男女比率はほぼ

等しいといえる。

表 2 回答者の年齢

年齢	件数	割合
10～19	1	0.8
20～29	2	1.6
30～39	3	2.4
40～49	19	15.0
50～59	17	13.4
60～69	23	18.1
70～79	37	29.1
80～89	18	14.2
90～99	4	3.1
無回答	3	2.4
合計	127	100

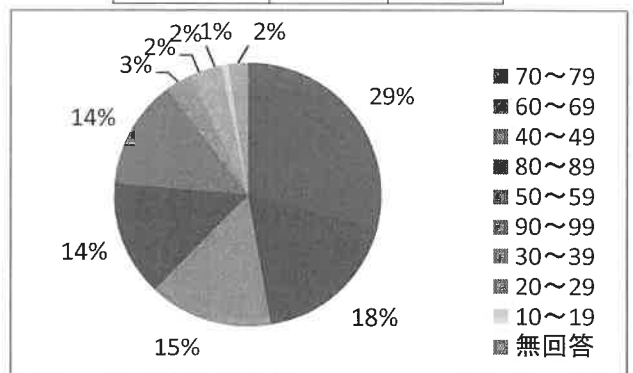


図 2 回答者の年齢

40 歳以上、90 歳未満の年齢層が多く、全体の約 90%を占める。次に、回答者の年齢は 70 代の割合が 29.1%と最も高く、次に高いのは 60 代の 18.1%であった。60 歳以上の高齢者が全体の 65%以上を占めている。

表 3 回答者の居住地

居住地	件数	割合
法吉団地	49	38.6
比津が丘団地	35	27.6
湊北台	20	15.7
うぐいす台団地	20	15.7
無回答	3	2.4
合計	127	100

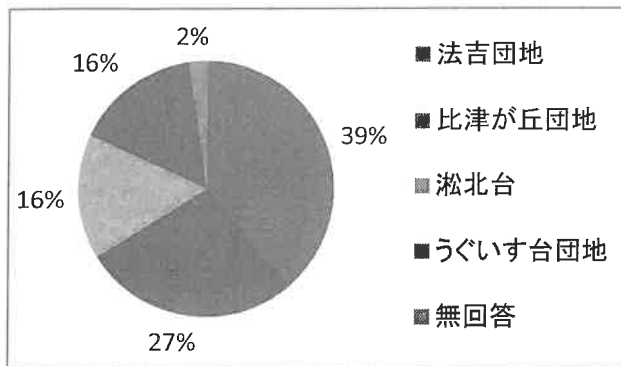


図 3 回答者の居住地

回答者の居住地の割合は、法吉団地が 38.6%と最も高く、次に 27.6%の比津が丘団地であり、淞北台とうぐいす台団地はほぼ等しい結果となった。

2.1.2 移動手段について

表 4 普段の移動(複数回答)

普段の移動	全体	件数	割合
自動車	127	99	78.0
徒歩	127	42	33.1
バス	127	36	28.3
自転車	127	30	23.6
タクシー	127	21	16.5
バイク	127	11	8.7

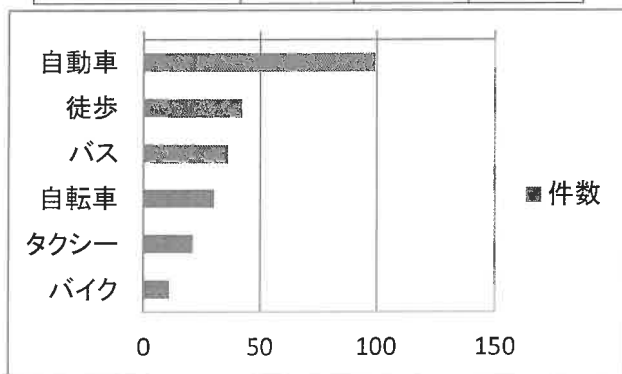


図 4 普段の移動(複数回答)

回答者が普段の移動に利用するものを複数回答で回答してもらった結果、自動車の利用者が最も多く、タクシーとバイクの利用者は少ないことが分かった。

表 5 普通自動車免許の有無

普通免許	件数	割合
有	91	71.7
無	32	25.2
無回答	4	3.1
合計	127	100

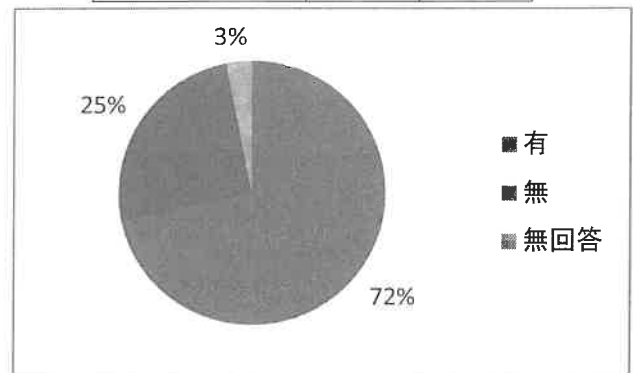


図 5 普通自動車免許の有無

普通免許を持っている人の割合が 71.7%と高い。これは、アンケート対象の団地すべてが高台団地であることが理由として考えられる。

2.1.3 カートに連動するスマートスピーカーについて

表 6 スマートスピーカーの活用

スマートスピーカーの活用をしてみたいか	件数	割合
よく分からない	87	68.5
いいえ	24	18.9
はい	10	7.9
無回答	6	4.7
合計	127	100

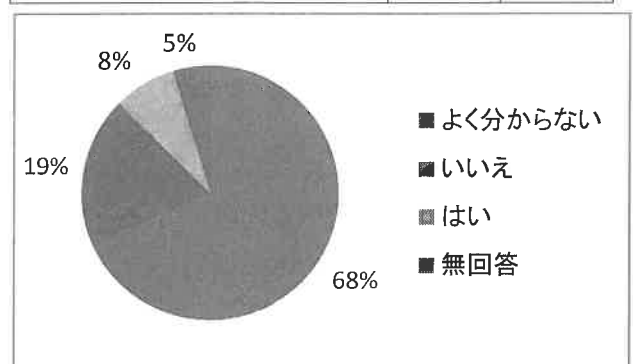


図 6 スマートスピーカーの活用

カートに連動するスマートスピーカーを活用

してみたいと思うかについて、全体の 68.5%が「よく分からない」と回答し、次に「いいえ」の回答の割合が高い結果となった。おそらく、スマートスピーカーという単語を聞いてもイメージが湧かない、知らない回答者が多くいたと思われる。スマートスピーカーを活用するのであれば、住民に対して講習会などを開催する必要がある。

2.2 クロス集計結果

2.2.1 属性についてのクロス集計

表 7 年齢と性別

年齢	性別			総計
	女性	男性	無回答	
10～19	1			1
20～29	1	1		2
30～39		3		3
40～49	10	9		19
50～59	8	9		17
60～69	16	7		23
70～79	23	13	1	37
80～89	7	11		18
90～99	1	3		4
総計	67	56	1	124

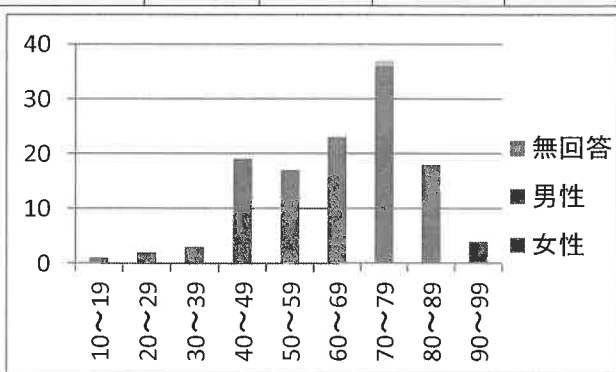


図 7 年齢と性別

年齢別に性別を見てみると、60代と70代は女性の割合が若干高めであることが分かる。

表 8 年齢と普通免許

年齢	普通免許			総計
	有	無	無回答	
10～19		1		1
20～29	2			2
30～39	3			3
40～49	17	1	1	19
50～59	16	1		17
60～69	22	1		23
70～79	22	14	1	37
80～89	5	12	1	18
90～99	2	2		4
総計	89	32	3	124

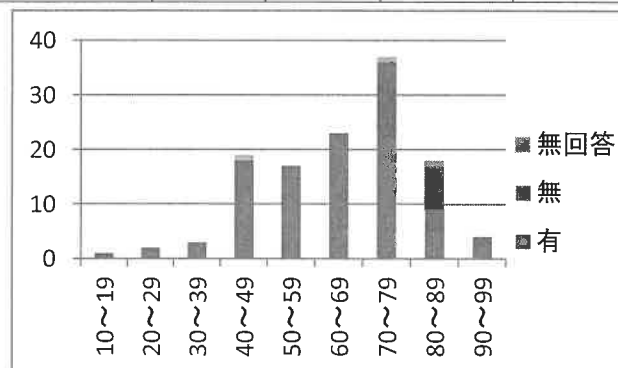


図 8 年齢と普通免許

年齢別に普通免許の有無を見てみると、60代までは各年齢の殆どの回答者が普通免許を持っているが、70代以上は普通免許を持っていない回答者の割合が高くなっている。自由記述欄に、既に免許を返納したと記述している回答者が数名いたことから、免許返納によって普通免許を持たなくなった70代以上の回答者がいると思われる。移動手段では自動車の割合が高かったことから、70代以上の年代に対するサービス方法について考えていかなければならない。

表 9 年齢と居住地

年齢	居住地					総計
	うぐいす台団地	比津が丘団地	法吉団地	湊北台	無回答	
40～49		3	15		1	19
50～59	1	2	12	1	1	17
60～69	6	8	5	4		23
70～79	8	14	7	7	1	37
80～89	3	6	3	6		18
90～99	1		1	2		4
総計	19	33	43	20	3	118

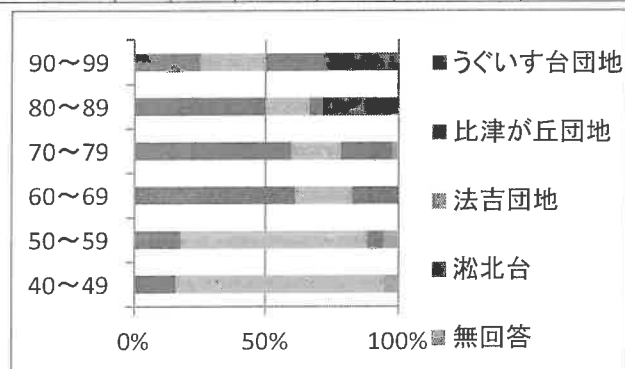


図 9 年齢と居住地

年齢別に居住地を見てみると、湊北台が最も高齢者の割合が高いことが分かる。また、年代が上がるごとに占める割合が増加している。このことは、うぐいす台団地にもあてはまると考えてよい。法吉団地は最も回答者数が多い団地だが、40、50代の割合が非常に高く、高齢者の割合は低めである。このことから、電動カートの需要は法吉団地よりも他の団地の方が高いとも判断できる。

表 10 居住地と性別

居住地	性別			総計
	女性	男性	無回答	
湊北台	10	10		20
うぐいす台団地	12	7	1	20
比津が丘団地	25	10		35
法吉団地	20	28	1	49
総計	67	55	2	124

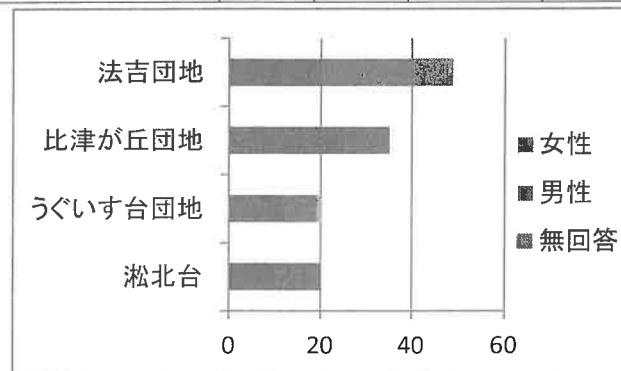


図 10 居住地と性別

居住地別に性別を見てみると、法吉団地は男性の割合が若干高めで、比津が丘団地は女性の割合が若干高めであることが分かる。

表 11 居住地と普通免許

居住地	普通免許			総計
	有	無	無回答	
湊北台	12	8		20
うぐいす台団地	15	4	1	20
比津が丘団地	22	13		35
法吉団地	40	6	3	49
総計	89	31	4	124

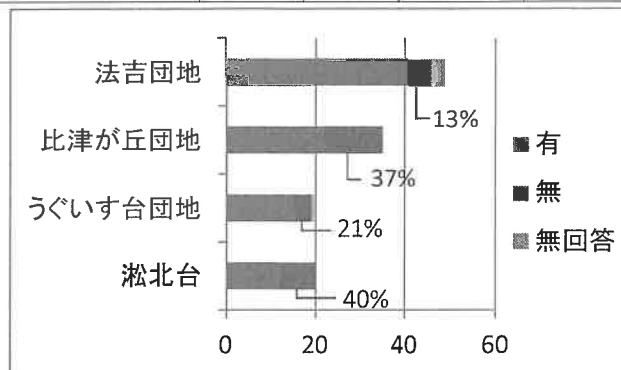


図 11 居住地と普通免許

居住地別に普通免許の有無を見てみると、ど

の団地の回答者も半数以上が普通免許を持っていることが分かる。図 9 から、うぐいす台団地は高齢者が多いとも判断できたが、普通免許を持っていない人の割合は 21%で、法吉団地の 13%に近い。一方で、比津が丘団地と淞北台は 37%、40%と普通免許を持っていない人の割合が高いことに着目したい。

表 12 年齢とスマートスピーカーの活用

スマートスピーカーの活用をしてみたいか					
年齢	はい	いいえ	よく分からない	無回答	総計
10～19			1		1
20～29		1	1		2
30～39		1	2		3
40～49	1	4	14		19
50～59	2	3	12		17
60～69	2	4	16	1	23
70～79	3	6	26	2	37
80～89		4	11	3	18
90～99	1	1	2		4
無回答	1		2		3
総計	10	24	87	6	127

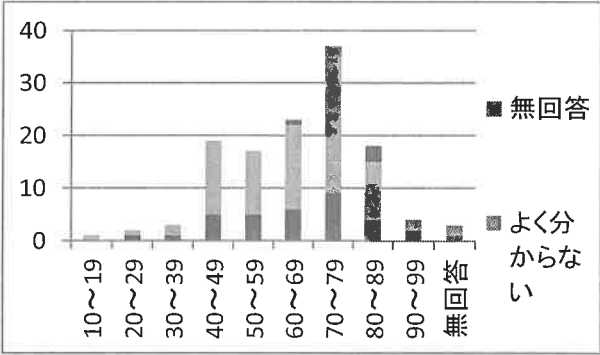


図 12 年齢とスマートスピーカーの活用

年齢別にスマートスピーカーの活用について見てみると、どの年代も「よく分からない」の回答が最も多く、次に「いいえ」の回答が多いことが分かる。高齢者だけでなく、若い世代にもスマートスピーカーの認知度が低い可能性があるため、まずはスマートスピーカーの認知度を上げる必要があると思われる。

2.2.2 利用施設に関するクロス集計

各施設に関する地図を写真 1 に示す。



写真 1 各団地と各施設

表 13 居住地と利用頻度(ハローやカフェ太郎)

居住地	ハローやカフェ太郎の利用頻度								総計
	ほぼ毎日	週3回	週2回	週1回	月2回程度	月1回程度	利用なし	無回答	
うぐいす台団地		2	1	6	2	4	4	1	20
法吉団地	1	2	10	9	4	11	11	1	49
比津が丘団地			5	6	9	8	6	1	35
湊北台			1		1	5	13		20
総計	1	4	17	21	16	28	34	3	124

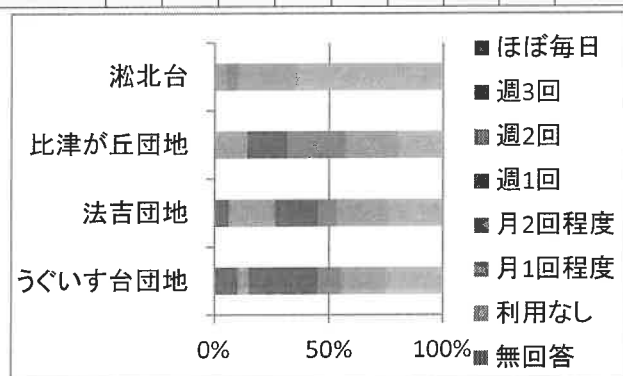


図 13 居住地と利用頻度(ハローやカフェ太郎)

居住地別にハートピアハローやカフェ太郎の利用頻度を見ると、湊北台以外の3つの団地はいずれも、月1回以上利用している回答者の割合が高いことが分かる。これに対して、湊北台の回答者は利用頻度が極めて低い。これは、湊北台からハートピアハローやカフェ太郎までは距離が離れていることが考えられる。生活拠点としてカフェ太郎を位置づけて電動カートを活用する場合、湊北台には別のサービスを提供する必要があると思われる。

表 14 年齢と利用頻度(ハローやカフェ太郎)

年齢	ハローやカフェ太郎の利用頻度								総計
	ほぼ毎日	週3回	週2回	週1回	月2回程度	月1回程度	利用なし	無回答	
40～49		2		4	2	4	5	1	18
50～59			2	3	1	7	2		15
60～69		1	5	2	5	3	3		19
70～79			4	5	6	7	5	2	29
80～89	1	1	3	4	1	1	1		12
90～99				1			1		2
総計	1	4	14	19	15	22	17	3	95

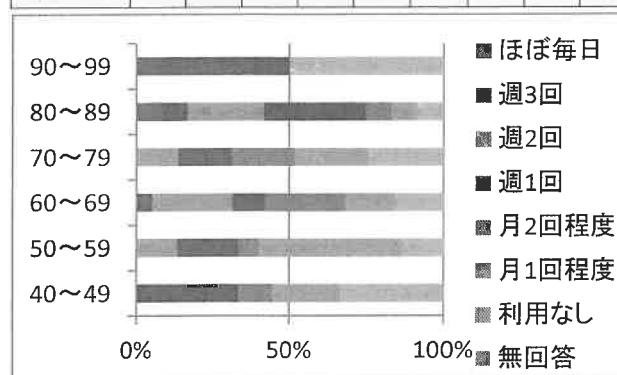


図 14 年齢と利用頻度(ハローやカフェ太郎)

年齢別にハートピアハローやカフェ太郎の利用頻度を見ると、データ数が少ない90代を除いてどの年代も半分以上が月に1回以上利用していることが分かる。特に80代が最も多く、12名中9名が毎週利用している。ここで、居住地別に利用頻度を見たときに、湊北台の回答者は利用頻度が極めて低いことが分かっているため、このクロス集計では湊北台以外の居住地の回答者を対象にした。

表 15 居住地と利用頻度(法吉村設置 ATM)

居住地	法吉村設置ATMの利用頻度						総計
	週 2 回 以 上	週 1 回	月 2 回 程 度	月 1 回 程 度	利 用 な し	無 回 答	
うぐいす台団地	1	2	4	8	5		20
法吉団地	1	3	17	21	7		49
比津が丘団地		3	9	10	12	1	35
湊北台			2	1	16	1	20
総計	2	8	32	40	40	2	124

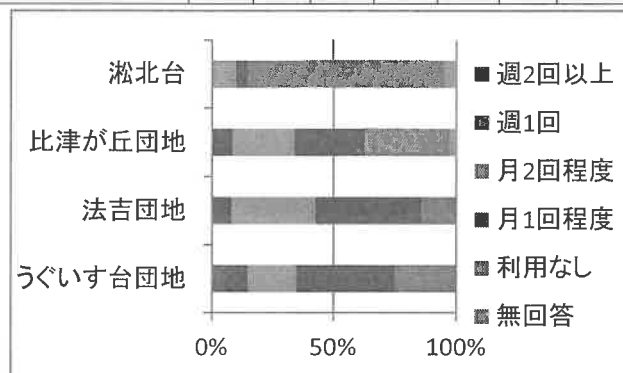


図 15 居住地と利用頻度(法吉村設置 ATM)

居住地別に法吉村設置 ATM の利用頻度を見ると、湊北台以外の3つの団地はいずれも、月1回以上利用している回答者の割合が高いことが分かる。これに対して、湊北台の回答者は利用頻度が極めて低い。これもカフェ太郎等の利用と同様に、湊北台から ATM まで距離が離れていることが考えられる。

表 16 年齢と利用頻度(法吉村設置 ATM)

年齢	法吉村設置ATMの利用頻度						総計
	週 2 回 以 上	週 1 回	月 2 回 程 度	月 1 回 程 度	利 用 な し	無 回 答	
40～49	1	2	5	7	3		18
50～59		1	7	7			15
60～69		1	5	9	4		19
70～79	1	4	7	10	7		29
80～89			4	3	4	1	12
90～99				1	1		2
総計	2	8	28	37	19	1	95

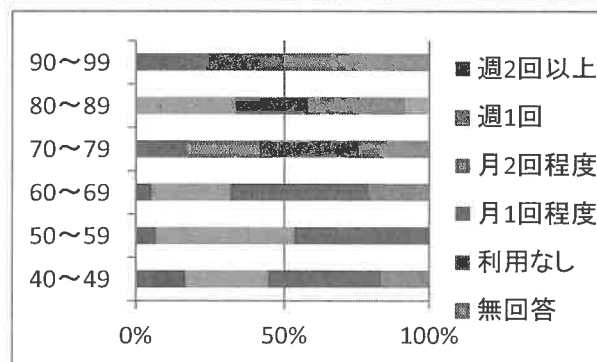


図 16 年齢と利用頻度(法吉村設置 ATM)

年齢別に法吉村設置 ATM の利用頻度を見ると、データ数が少ない 90 代を除いてどの年代も半分以上が月に 1 回以上利用していることが分かる。年代が上がるにつれて利用率は低くなっていくが、多くの住民が利用していると考えられる。また、居住地別に利用頻度を見たときに、湊北台の回答者は利用頻度が極めて低いことが分かっているため、このクロス集計では湊北台以外の居住地の回答者を対象にした。

表 17 居住地と利用頻度(比津が丘簡易郵便局)

居住地	比津が丘簡易郵便局の利用頻度						総計
	週 2 回 以 上	週 1 回	月 2 回 程 度	月 1 回 程 度	利 用 な し	無 回 答	
うぐいす台団地			1	4	14	1	20
法吉団地		2	1	13	33		49
比津が丘団地	1	7	9	11	6	1	35
湍北台				2	17	1	20
総計	1	9	11	30	70	3	124

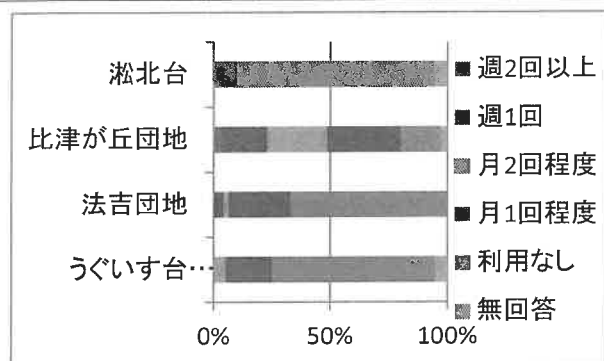


図 17 居住地と利用頻度(比津が丘簡易郵便局)

居住地別に比津が丘簡易郵便局の利用頻度を見ると、比津が丘団地の回答者の半分以上が、月に1回以上利用していることが分かる。これに対して、比津が丘団地以外の団地の回答者はほとんど利用していない。これは、比津が丘簡易郵便局は比津が丘団地内にあるため、他の団地からは距離が離れていることが考えられる。比津が丘団地において電動カートを活用する場合、比津が丘簡易郵便局を停留所とすることは、満足できるサービスになると考えられる。

表 18 年齢と利用頻度(比津が丘簡易郵便局)

年齢	比津が丘簡易郵便局の利用頻度						総計
	週 2 回 以 上	週 1 回	月 2 回 程 度	月 1 回 程 度	利 用 な し	無 回 答	
40～49				1	2		3
50～59			1		1		2
60～69			2	5	1		8
70～79	1	5	4	4			14
80～89		2	2	1		1	6
総計	1	7	9	11	4	1	33

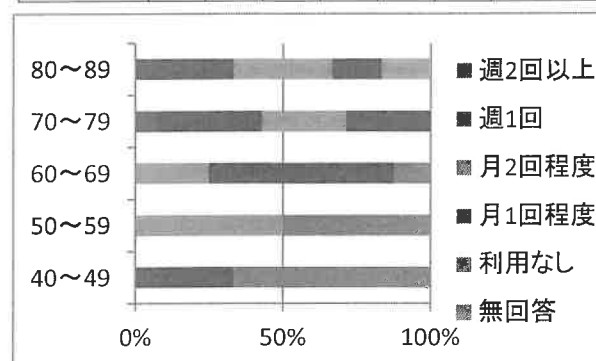


図 18 年齢と利用頻度(比津が丘簡易郵便局)

年齢別に比津が丘簡易郵便局の利用頻度を見ると、80代と70代の回答者の利用頻度が高いことが分かる。60代未満の世代は携帯電話などのサービスを有効に利用することができるが、高齢者の方々にとって郵便局は重要な情報発信元として有効利用されていると考えられる。また、居住地別に利用頻度を見たときに、比津が丘団地以外の回答者は利用頻度が極めて低いことが分かっているため、このクロス集計では居住地が比津が丘団地の回答者のみを対象にした。

表 19 居住地と利用頻度(自宅周辺の医院等)

居住地	自宅周辺の医院等の利用頻度					総計
	週 1 回	月 2 回 程 度	月 1 回 程 度	利 用 な し	無 回 答	
うぐいす台団地			6	12	2	20
法吉団地		5	12	32		49
比津が丘団地		2	13	18	1	35
湊北台		4	13	2	1	20
総計	1	11	44	64	4	124

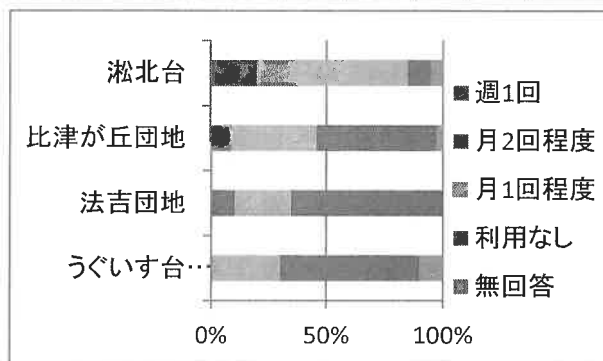


図 19 居住地と利用頻度(自宅周辺の医院等)

居住地別に自宅周辺の医院等の利用頻度を見ると、湊北台が最も利用頻度が高く、次に比津が丘団地が高いことが分かる。湊北台と比津が丘団地は団地の近くに病院が数軒あるが、法吉団地とうぐいす台団地は近くに病院がないため、「利用なし」の回答者が多いと考えられる。高齢者の割合が高い湊北台では、近くの病院を多く利用する傾向にある。

表 20 年齢と利用頻度(自宅周辺の医院等)

年齢	自宅周辺の医院等の利用頻度					総計
	週 1 回	月 2 回 程 度	月 1 回 程 度	利 用 な し	無 回 答	
40～49			4	15		19
50～59		2	6	9		17
60～69		2	12	8	1	23
70～79	1	4	14	15	3	37
80～89		1	8	9		18
90～99		1	1	2		4
総計	1	10	45	58	4	118

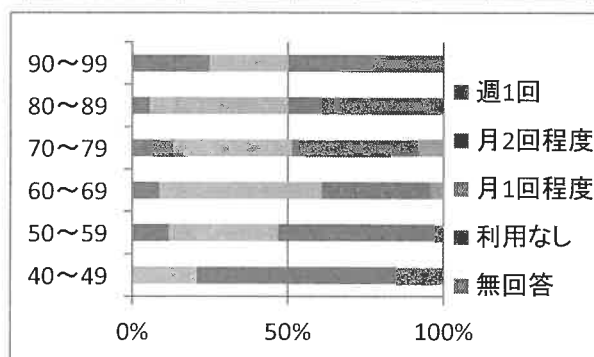


図 20 年齢と利用頻度(自宅周辺の医院等)

年齢別に自宅周辺の医院等の利用頻度を見ると、40代以外の年代はいずれも、回答者の約半分以上が月に1回以上利用していることが分かる。

表 21 居住地と利用頻度(自宅周辺の理容・美容院)

居住地	自宅周辺の理容・美容院の利用頻度						総計
	月1回程度	2ヶ月に1回程度	3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	利用なし	無回答	
うぐいす台団地	4	1	1		12	2	20
法吉団地	9	6	4	1	28	1	49
比津が丘団地	5	6	2	1	20	1	35
湍北台	3	5	2		9	1	20
総計	21	18	9	2	69	5	124

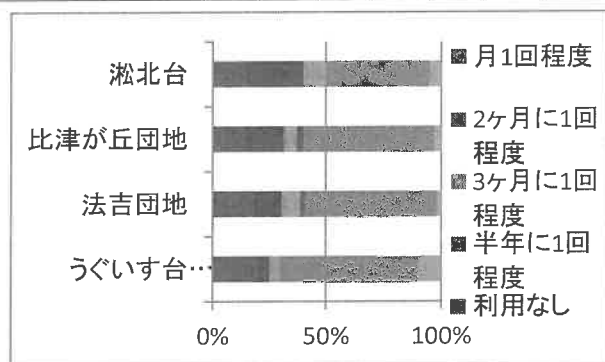


図 21 居住地と利用頻度(自宅周辺の理容・美容院)

居住地別に自宅周辺の理容・美容院の利用頻度を見てみると、どの団地にも利用者はいるが、うぐいす台団地が最も利用頻度が低いことが分かる。これは、各団地周辺の理容・美容院まで最も距離が離れているのがうぐいす台団地であることが考えられる。

表 22 年齢と利用頻度(自宅周辺の理容・美容院)

年齢	自宅周辺の理容・美容院の利用頻度						総計
	月1回程度	2ヶ月に1回程度	3ヶ月に1回程度	半年に1回程度	利用なし	無回答	
40～49	3	3	1	1	11		19
50～59	1		3		13		17
60～69	6	3	2		12		23
70～79	6	6	3	1	19	2	37
80～89	3	4			8	3	18
90～99		1			3		4
総計	19	17	9	2	66	5	118

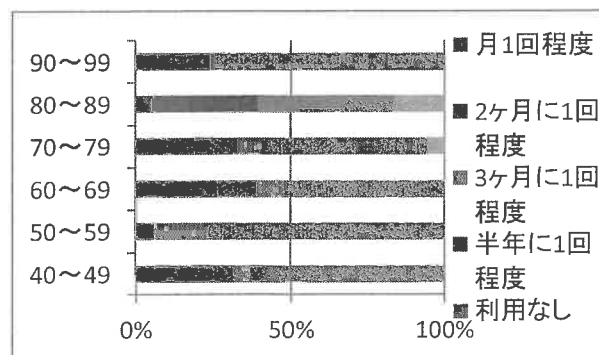


図 22 年齢と利用頻度(自宅周辺の理容・美容院)

年齢別に自宅周辺の理容・美容院の利用頻度を見てみると、50代のみ利用頻度が非常に低いが、それ以外の年代はある程度の利用者がいると思われる。

2.3 共起ネットワーク分析

アンケートの最後に「現在、移動手段などでお困りのこと」という自由記述の設問を設け、共起ネットワークによって回答を分析した。共起ネットワークとは文章中で頻繁に共起する単語を線で結んだ図である。この設問には、アンケート回答者の127名中36名が回答した。

2.3.1 全回答者の共起ネットワーク

36名の回答の共起ネットワークを図23に示す。見てみると、「バス」、「路線」、「少ない」、「本数」などの単語がつながり、公共交通機関に対しての不満がうかがえる。また、「車」、「運転」、「免許」、「返納」といった自動車に関する単語が見受けられる。自動車は住民にとって重要な移動手段といえる。一方で、「カート」、「電動」といったRe×hopeに対する期待も見受けられる。

2.3.2 60歳未満の共起ネットワーク

ここで、回答者を60歳未満と60歳以上の2グループに分けて考える。60歳未満のグループの共起ネットワークを図24に示す。見てみると、「運転」、「電動」、「不安」などの複数の単語が中心にある。「電動」からは、「カート」、「普及」、「将来」などにつながっていることから、将来的に電動カートが普及するかどうかについて触れている回答があると思われる。「不安」からは、「バス」、「路線」、「通学」などにつながっていることから、バス路線の少なさに不安を感じている回答があると思われる。

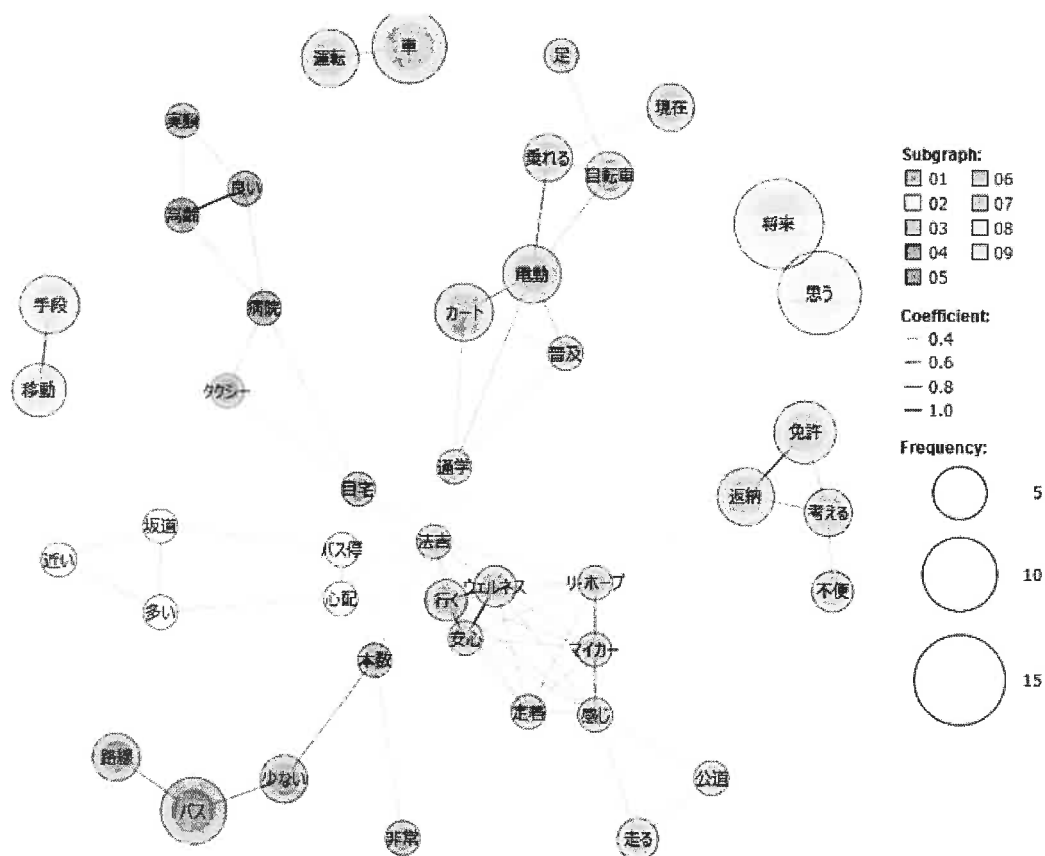


図 23 全回答者の共起ネットワーク

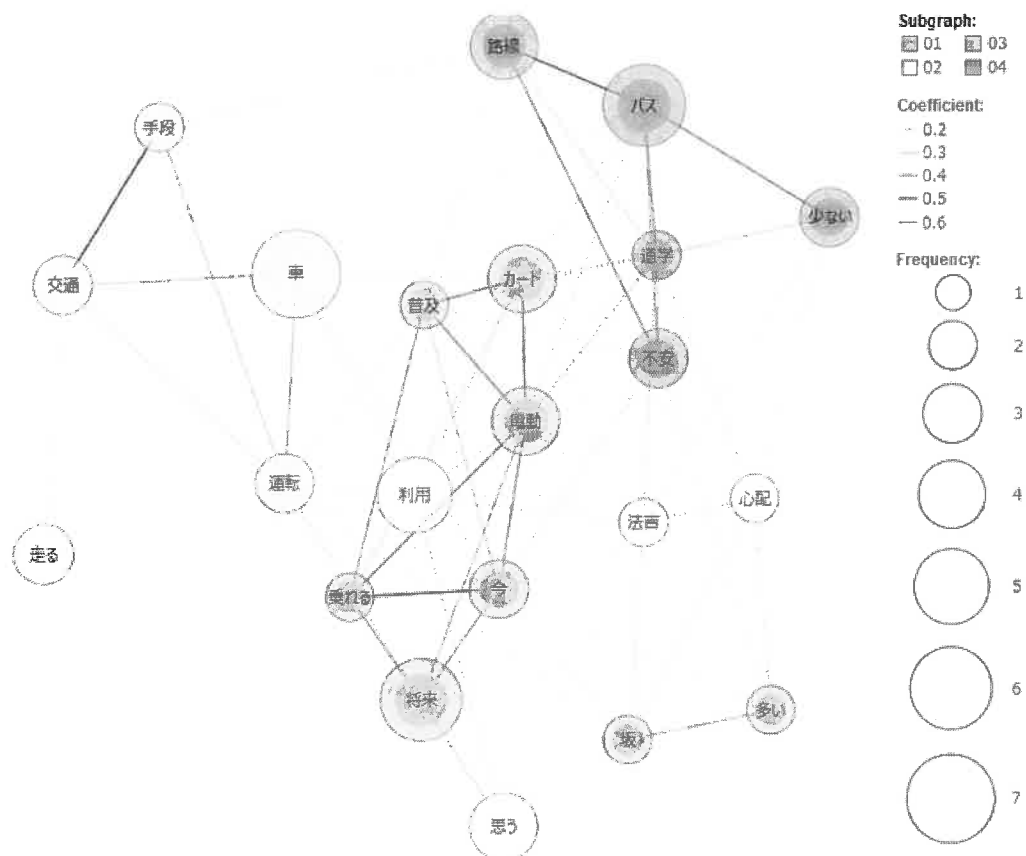


図 24 60 歳未満の共起ネットワーク

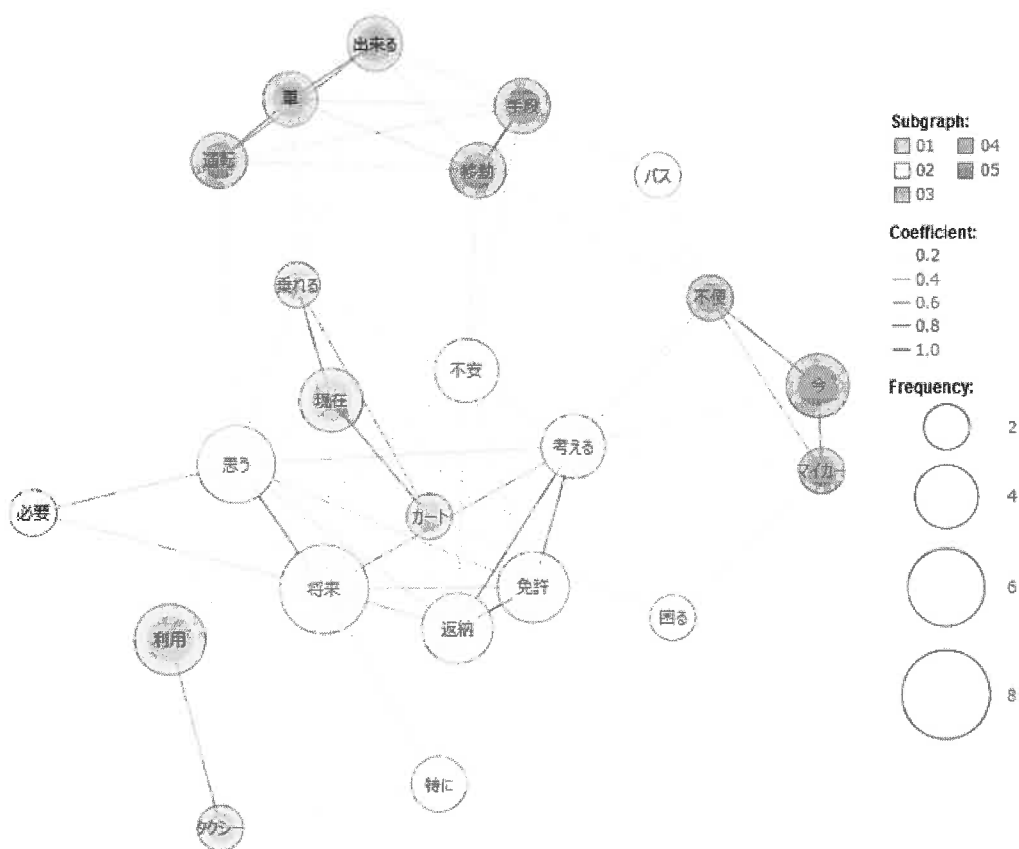


図 25 60 歳以上の共起ネットワーク

2.3.3 60歳以上の共起ネットワーク

60歳以上の共起ネットワークを図25に示す。見てみると、「不安」が中心にあり、「移動」、「考える」などの複数の単語とつながっている。「移動」からは、「運転」、「できる」、「手段」などにつながっていることから、移動手段に不安を感じている回答があると思われる。「考える」からは、「将来」、「免許」、「返納」などにつながっていることから、将来免許を返納した際の不安を感じている回答があると思われる。

2.3.4 法吉団地の共起ネットワーク

法吉団地の共起ネットワークを図26に示す。見てみると、「バス」、「手段」が中心にある。「バス」からは、「路線」、「将来」、「不安」などにつながっていることから、バス路線の少なさに不安を感じている回答があると思われる。

2.3.5 比津が丘団地の共起ネットワーク

比津が丘団地の共起ネットワークを図27に示す。見てみると、「今」、「免許」、「ウェルネス」など複数の単語が中心にあり、それぞれ別の話題でつながっている。「今」からは、「運転」、「乗れる」、「将来」、「利用」などにつながっていることから、今は車が運転できるが、将来は電動カートを利用しようと考えている回答者がいると思われる。「免許」からは、「返納」、「考える」、「定着」などにつながっていることから、免許返納を考えている回答があると思われる。「ウェルネス」からは、「行く」、「安心」などにつながっていることから、ウェルネスに行きたい回答者がいると思われる。

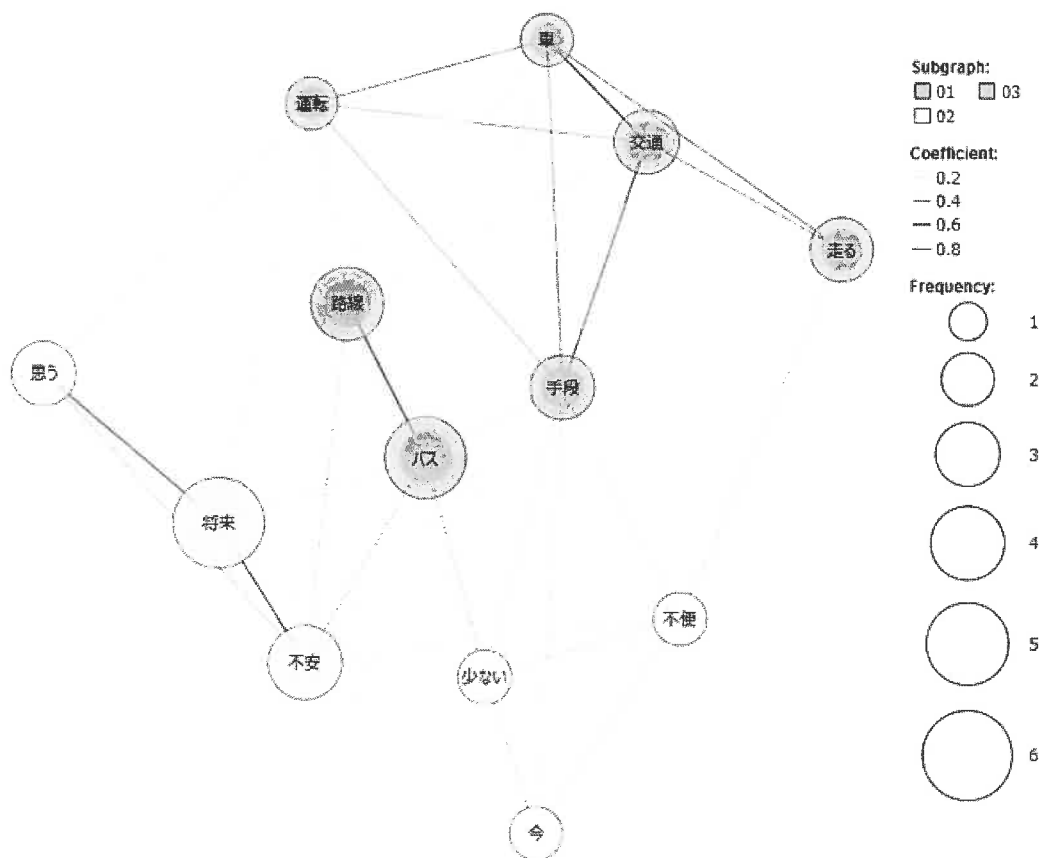


図26 法吉団地の共起ネットワーク

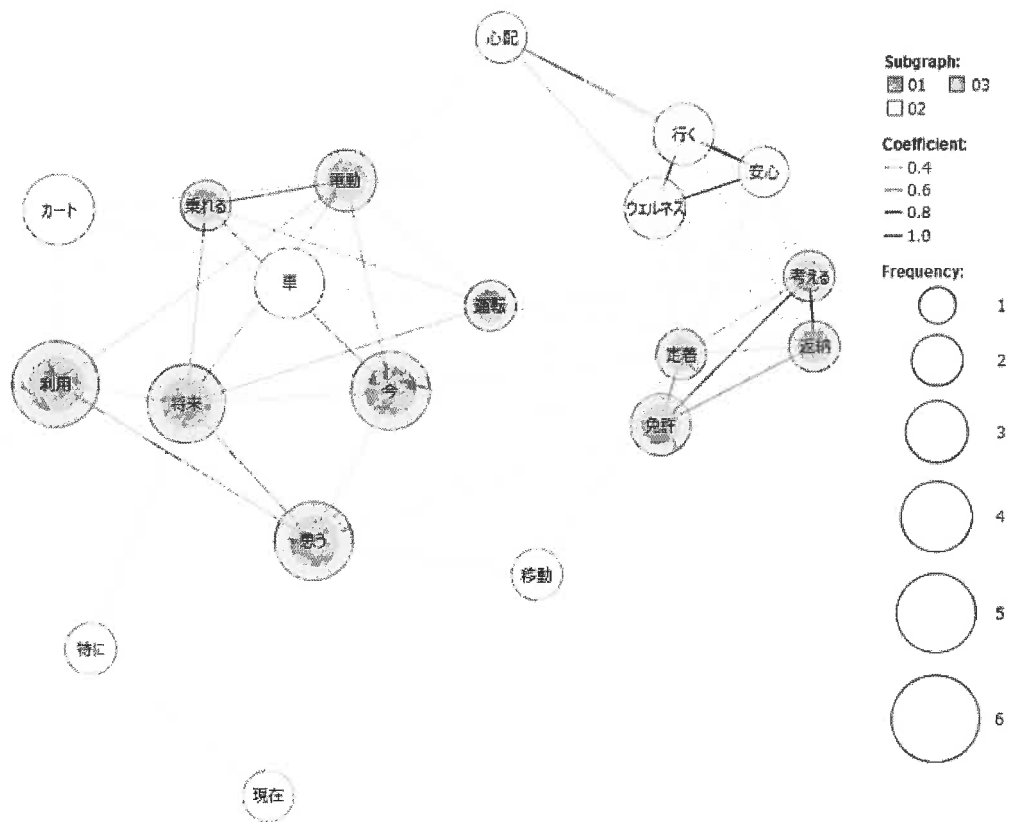


図 27 比津が丘団地の共起ネットワーク

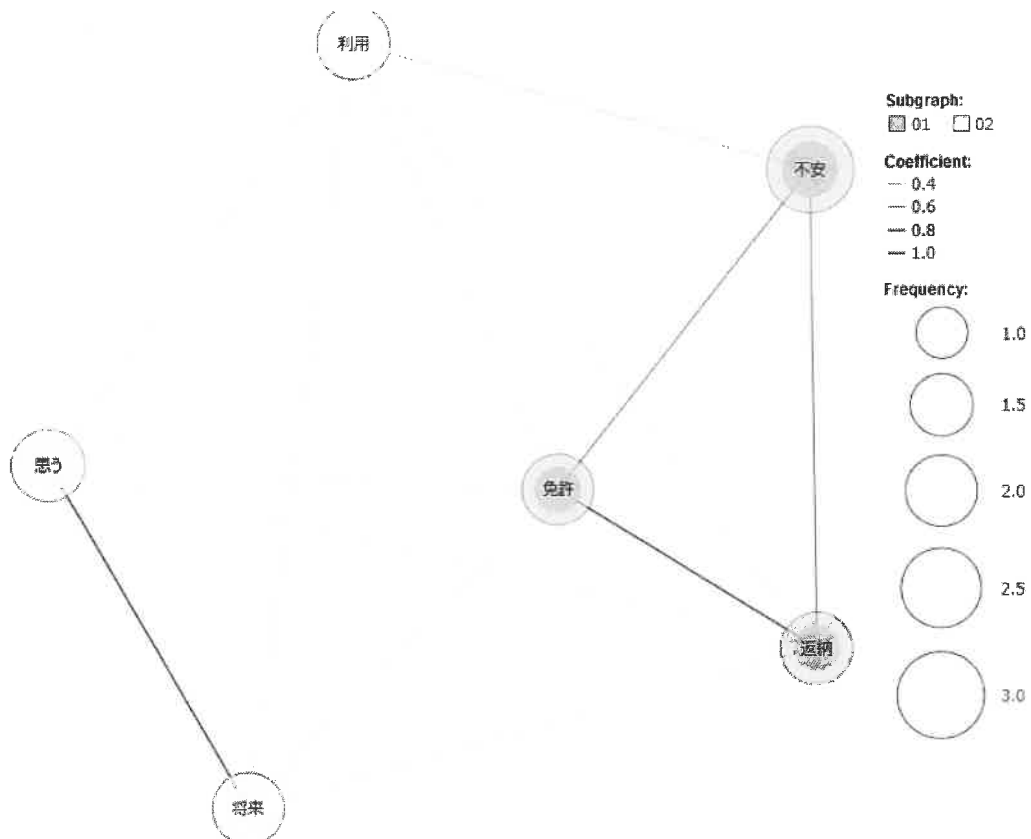


図 28 湊北台の共起ネットワーク

2.3.6 湊北台の共起ネットワーク

湊北台の共起ネットワークを図 28 に示す。見てみると、「免許」が中心にあり、「返納」、「不安」、「将来」などにつながっていることから、免許返納後について不安を感じている回答があると思われる。

2.3.7 うぐいす台団地の共起ネットワーク

うぐいす台団地の共起ネットワークを図 29 に示す。見てみると、「団地」が中心にあり、「除雪」、「雪」などにつながっていることから、雪の日にも電動カートの需要があると思われる。

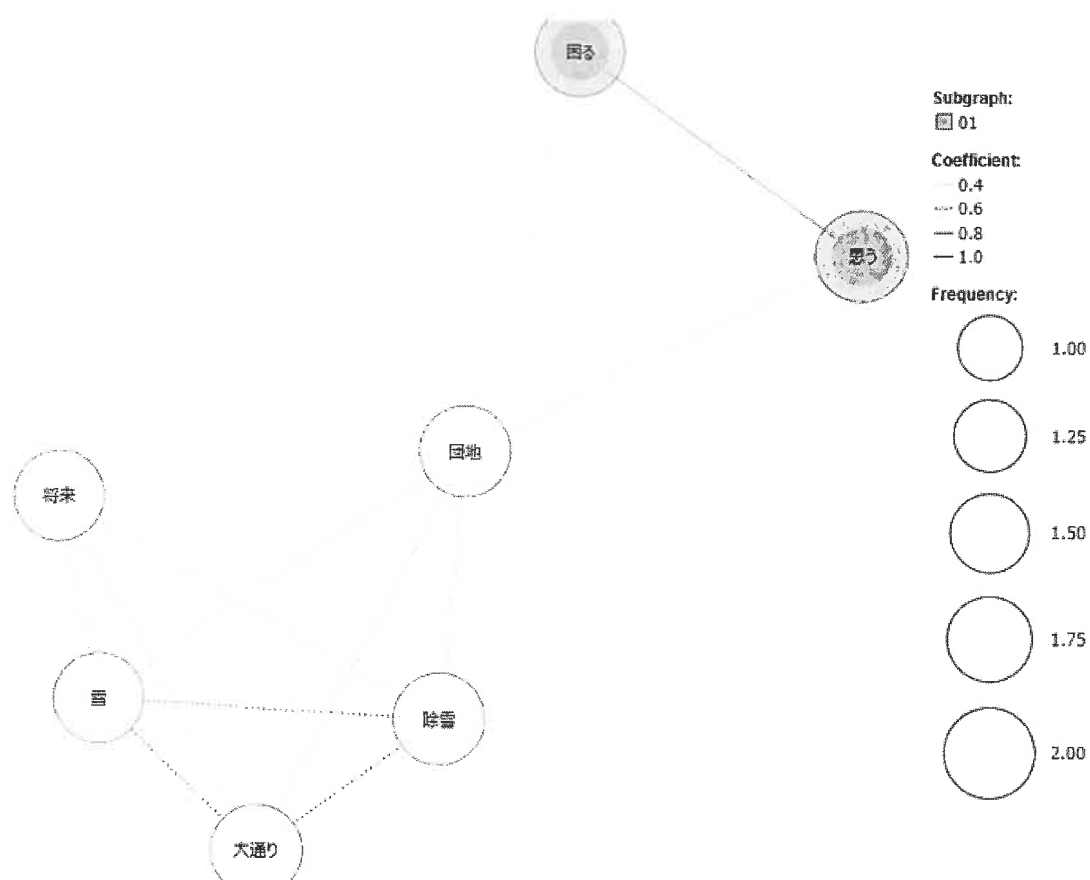


図 29 うぐいす台団地の共起ネットワーク

グリーンスローモビリティ 電動カート「Re×hope」実証実験

平成30年度 不昧公200年祭アンケート調査結果報告書



2018年12月12日

1. 調査背景

グリーンスローモビリティは、乗りやすく手軽に利用できることから様々な場面での利用が期待できる。今回、観光地における移動手段の1つとして利用した。松江城周辺は坂が多く、高齢者などには観光地間の移動が困難な場合がある。また、観光案内のサービスを提供できることから、活用する意義は大きいと判断できた。

また、平成25年～28年に中海・宍道湖・大山圏域における観光周遊動向調査を実施している。この先行研究の調査結果と比較することにより、松江城を訪れる観光客の特性も導出していきたい。

2. アンケート調査

平成30年9月15日(土)～17日(月)の3日間、松江城において開催された「不昧公200年祭」にグリーンスローモビリティを運行させた。乗客数は述べ493人であり、アンケートは1団体1回答としたところ223件の回答を得た。

2.1 アンケート調査結果

表1 日付別の回答件数

日付	件数	割合
9月15日	83	37.22
9月16日	73	32.74
9月17日	67	30.04
合計	223	100

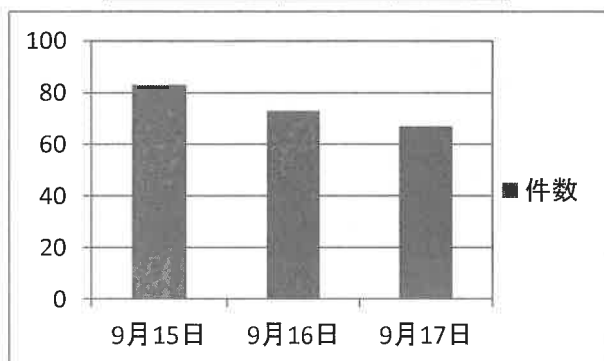


図1 日付別の回答件数

日付別に回答件数を見ると、15日が最も多く17日が最も少ない。15日は三連休の初日

であったため旅行者が多かったことと、17日は雨が降っており外出者が少なかったのではないかと考えられる。

表2 時間帯別の回答件数

時間帯	件数	割合
9:00～9:59	8	3.59
10:00～10:59	36	16.14
11:00～11:59	41	18.39
12:00～12:59	31	13.90
13:00～13:59	40	17.94
14:00～14:59	18	8.07
無回答	49	21.97
合計	223	100

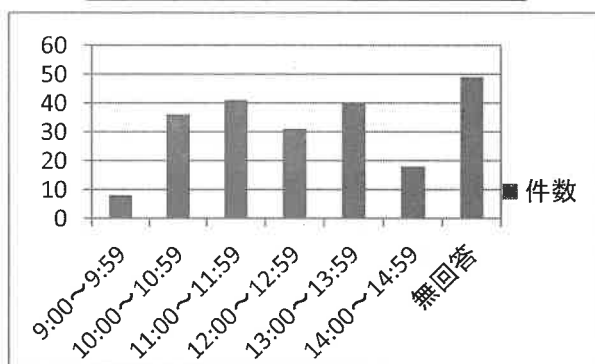


図2 時間帯別の回答件数

時間帯別に回答件数を見ると、10時から14時の間に利用した回答者の割合が高いことが分かる。また、無回答が多い要因としては、アンケートに記入する時間が十分ではなかったと考えられた。

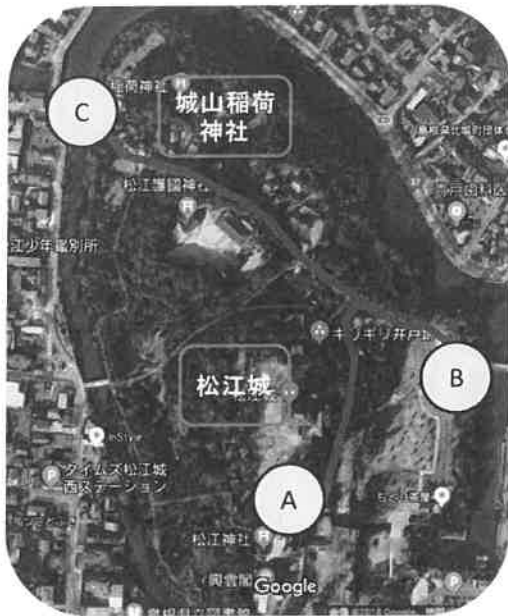


図 3 乗降場

表 3 乗車地

乗車地	件数	割合
A	129	57.85
B	28	12.56
C	34	15.25
無回答	32	14.35
合計	223	100

表 4 降車地

降車地	件数	割合
A	92	41.26
B	34	15.25
C	97	43.50
合計	223	100

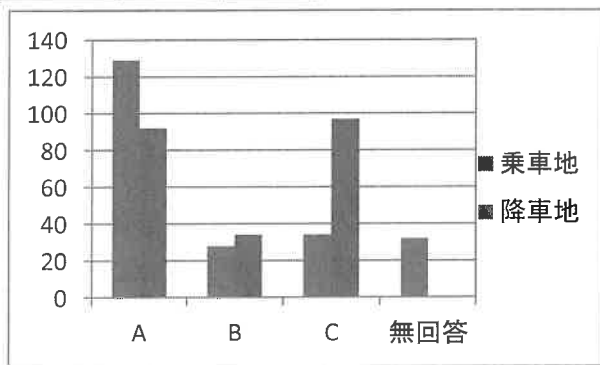


図 4 乗降場別利用件数

乗降場は図 3 の 3 箇所であり、A で乗車する人の割合が最も高く、降車は A と C の割合が高かった。また、B は乗車・降車ともに割合が低い。B は松江歴史館に近い場所に設置してあったが、アンケート項目の観光訪問先に松江歴史館を記入した人が少なかったことから、松江城付近の A、小泉八雲記念館付近の C と比べると

需要は低いと判断できる。

表 5 回答者の性別

性別	件数	割合
女性	220	54.59
男性	180	44.67
無回答	3	0.74
合計	403	100

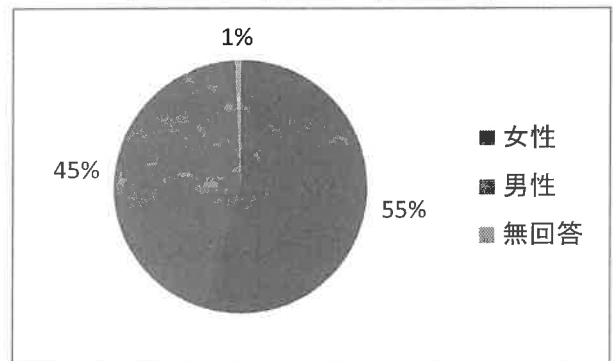


図 5 回答者の性別

回答者の性別の割合は、女性が 54.59%、男性が 44.67% となり、男女比率はほぼ等しいといえる。また、本アンケートでは 1 回答につき 6 名まで性別・年齢が記入できたため、回収件数より回答件数の方が上回っている。

表 6 回答者の年齢

年齢	件数	割合
10 歳未満	36	8.87
10 代	15	3.69
20 代	38	9.36
30 代	45	11.08
40 代	71	17.49
50 代	82	20.20
60 代	70	17.24
70 代	35	8.62
80 代	7	1.72
無回答	7	1.72
合計	406	100

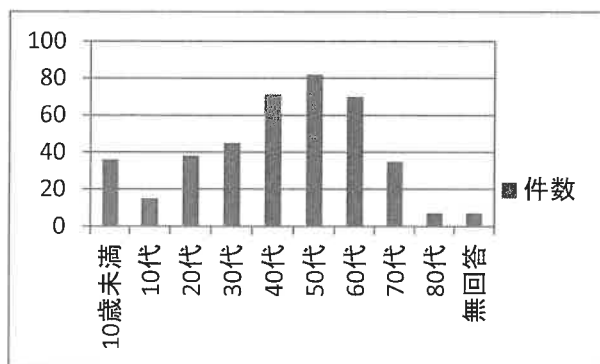


図 6 回答者の年齢

回答者の年齢の割合は、40 代～60 代が最も高かった。しかし、20 代や 30 代の利用者もいることや、10 歳未満の子供連れの家族なども多かったことから、サービスの需要は全体的に高いと考えられる。先行研究においてもこの圏域を訪れる観光客は 50 代以上の年齢層が多く、他の観光地においても、このサービスを提供する意義は十分にあると考えられる。

表 7 回答者の住所地

住所地	件数	割合
島根	31	18.13
大阪	27	15.79
広島	22	12.87
神奈川	17	9.94
愛知	15	8.77
京都	12	7.02
兵庫	11	6.43
鳥取	10	5.85
東京	8	4.68
北海道	5	2.92
岡山	5	2.92
福岡	5	2.92
無回答	3	1.75
合計	171	100

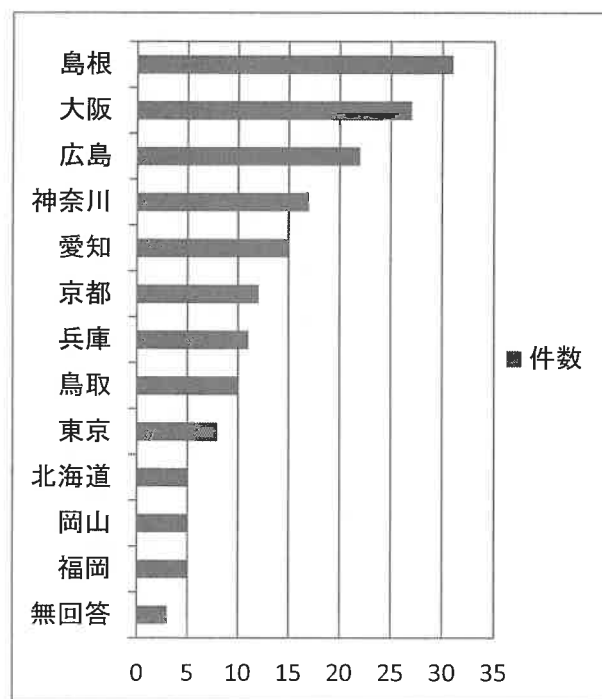


図 7 回答者の住所地

回答者の住所地の割合は、島根が最も高く、その次に大阪、広島となっている。回答件数が 5 件未満であった住所地は省略したが、松江城には全国各地から訪れており、韓国、フランスなど国外からの観光客もいた。平成 25 年の調査では、観光客の割合は関西 26%、関東 19%、東海 10%、広島県 9%の次に島根県 7%であった。今回の調査では島根県の比率が高くなっている。松江城国宝化により県内の人達が改めて松江城を訪問するようになっているのかもしれない。

表 8 宿泊有無

宿泊有無	件数	割合
宿泊	169	75.78
日帰り	32	14.35
無回答	22	9.87
合計	223	100

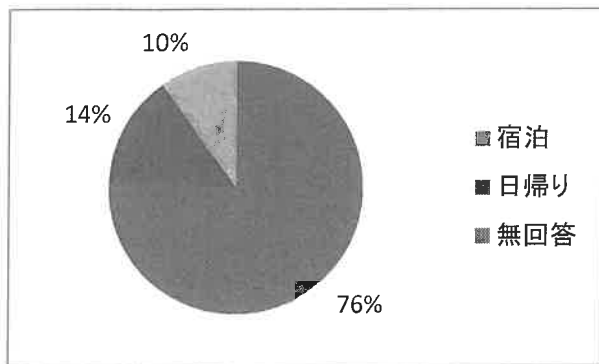


図 8 宿泊有無

表 9 宿泊先

宿泊先	件数	割合
松江市	83	37.22
松江市外	81	36.32
日帰り	32	14.35
市内・市外	4	1.79
無回答	23	10.31
合計	223	100

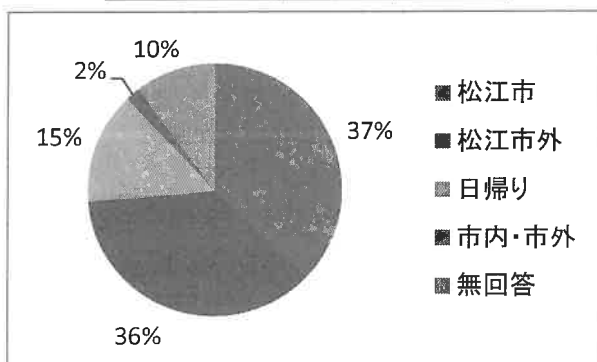


図 9 宿泊先

回答者の宿泊の有無の割合は、宿泊が 76%と非常に高い。宿泊先の割合は、松江市内が 37.22%、松江市外が 36.32%とほぼ等しい。また、少数ではあるが市内・市外の両方に宿泊するという回答もあった。

表 10 旅行人数

旅行人数	件数	割合
1	16	7.17
2	88	39.46
3	41	18.39
4	31	13.90
5	13	5.83
6人以上	14	6.28
無回答	20	8.97
合計	223	100

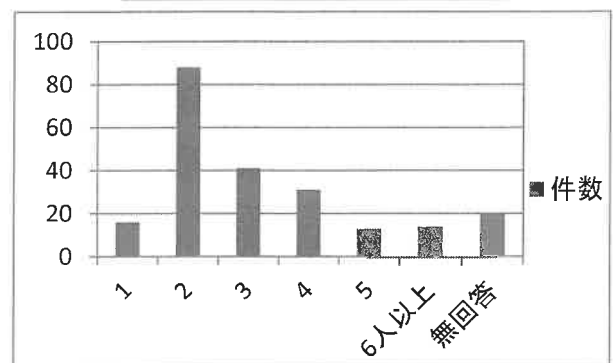


図 10 旅行人数

旅行人数は、2人と回答した割合が 39.46%と最も高い。調査時には、夫婦での訪問率が高いと感じた。

表 11 市内の移動手段(複数回答)

市内の移動手段	全体	件数	割合
自家用車	223	123	55.16
レンタカー	223	30	13.45
徒歩	223	25	11.21
観光バス	223	20	8.97
レイクライン	223	17	7.62
路線バス	223	15	6.73
タクシー	223	4	1.79
自転車	223	3	1.35

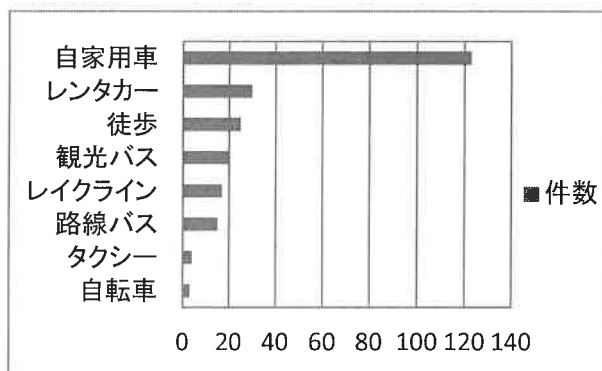


図 11 市内の移動手段(複数回答)

市内の移動に利用するものを複数回答で回答してもらった結果、自家用車の回答が最も多く、タクシーと自転車の回答は少なかった。また、自家用車の次にレンタカーの回答が多かったことから、市内を自動車で移動する回答者が多いことが分かる。

表 5 駐車場所

駐車場所	件数	割合
大手前駐車場	69	30.94
城山西駐車場	40	17.94
その他	32	14.35
県庁駐車場	19	8.52
無回答	63	28.25
合計	223	100

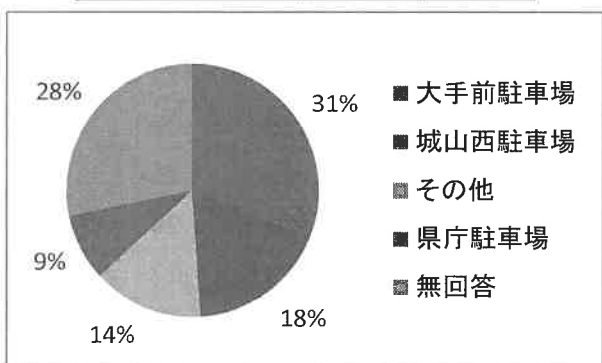


図 12 駐車場所

回答者が利用した駐車場所の割合は、松江城大手前駐車場が最も高いことが分かる。多くの観光客が車を用いて訪問しているので、駐車場に対する要望への対応は非常に重要である。また、無回答が多い要因としては、駐車場を利用していない人のための選択肢が用意されていない

かったことが考えられる。

表 6 観光訪問先

観光訪問先	件数
松江城	94
塩見縄手	27
足立美術館	18
八重垣神社	10
出雲大社	10
境港	10
美術館	6
宍道湖	6
松江歴史館	3
イングリッシュガーデン	3
大根島	3

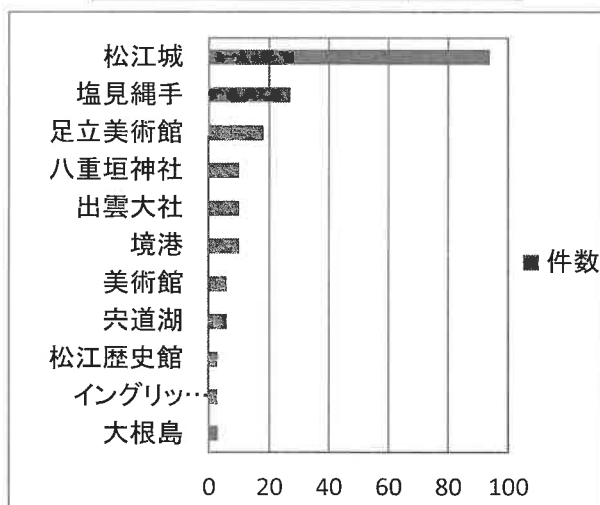


図 13 観光訪問先

観光訪問先を自由記述として設けた結果、松江城の回答が最も多いことが分かった。松江城周辺においてアンケート調査を行っているため松江城を回答している人が多いが、その他の観光地にも訪問している人がいる。平成 20 年の調査では、この圏域を訪れる人の割合は松江地区 38.2%、出雲地区 46.6%、境港地区 22.7%であり、松江地区だけでなく他の多くの地区にも観光客は訪れていた。今回の調査結果では、松江城を訪れる観光客は松江城周辺のみを訪れる人が多いのかもしれない。また、回答件数が 3 件未満の場所については省略した。

表 7 乗り心地について

乗り心地	件数	割合
良い	186	83.41
普通	28	12.56
悪い	1	0.45
無回答	8	3.59
合計	223	100

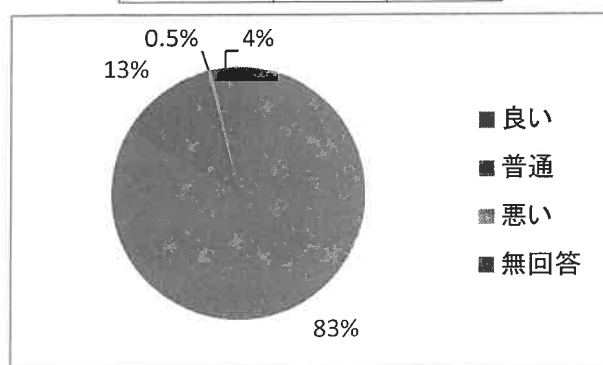


図 14 乗り心地について

乗り心地についての回答を見てみると、「良い」の回答が 83.41%、「悪い」の回答がわずか 0.45%と高い評価を得られた。

表 8 スピードについて

スピード	件数	割合
適度	191	85.65
速い	22	9.87
遅い	1	0.45
無回答	9	4.04
合計	223	100

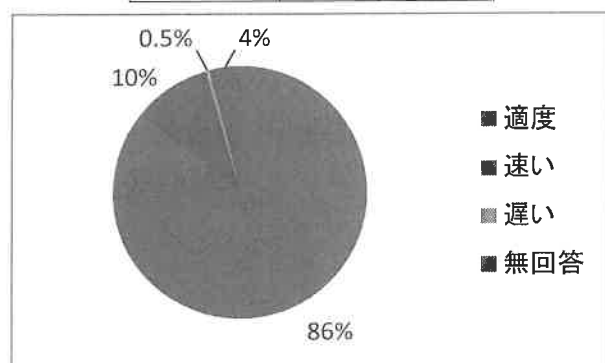


図 15 スピードについて

スピードについても、「適度」の回答が 85.65%、「遅い」の回答がわずか 0.45%であり、適度なスピードであったと判断できる。

表 9 観光や散策への役立ち

役立ち	件数	割合
役立った	192	86.10
なんとも言えない	15	6.73
役に立たなかった	1	0.45
無回答	15	6.73
合計	223	100

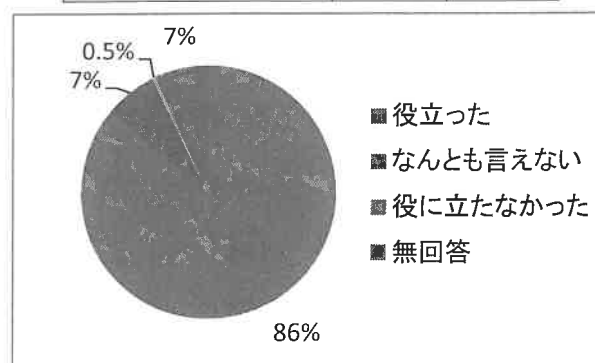
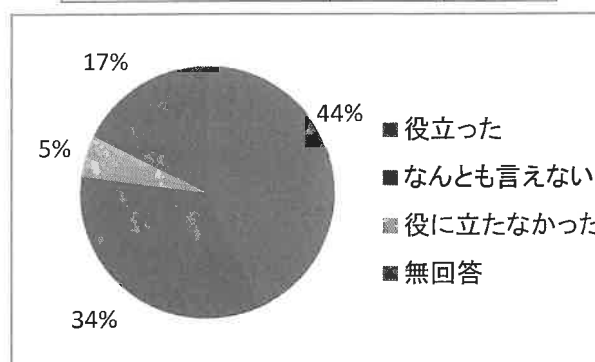


図 16 観光や散策への役立ち

電動カートが観光や散策へ役立ったかどうかについての回答を見てみると、「役立った」の回答が 86.10%、「役に立たなかった」の回答がわずか 0.45%であり、電動カートが観光モビリティとしても有効であると判断できる。

表 10 スマートスピーカーによる観光案内

スマートスピーカー	件数	割合
役立った	97	43.50
なんとも言えない	75	33.63
役に立たなかった	12	5.38
無回答	39	17.49
合計	223	100

図 17 スマートスピーカーによる観光案内
スマートスピーカーによる観光案内が役立つ

たかどうかについての回答を見てみると、「役立った」の回答が 43.50%、「なんとも言えない」の回答が 33.63%であった。感想等の自由記述欄に、「スマートスピーカーの音が小さく聞き取れなかった」と記述された回答が複数あったことから、「なんとも言えない」「役に立たなかった」「無回答」の割合が高くなったと考えられる。今後もスマートスピーカーを利用する際には、音量を上げる、取り付け位置を変更するなどの改善が求められる。

表 11 1 回乗車 100 円程度でも利用するか

乗車 100 円	件数	割合
利用する	197	88.34
利用しない	13	5.83
無回答	13	5.83
合計	223	100

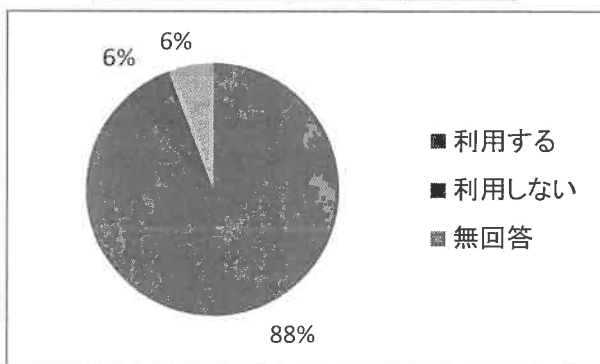


図 18 1 回乗車 100 円程度でも利用するか

電動カート 1 回乗車につき 100 円程度でも利用するかについての回答を見てみると、「利用する」の回答が 88.34%であり、100 円程度の運賃に設定しても問題ないと判断できる。また、自由記述欄に「距離にもよる」という回答が複数あったことから、運賃設定の際には走行距離も十分に考慮した方が良いと思われる。

2.2 共起ネットワーク

アンケートの最後に感想や意見などについて自由記述欄を設け、共起ネットワークによって回答を分析した。この設問には 100 名が回答した。

分析結果の図 19 を見ると、複数の話題があることが分かる。「円」、「乗車」などは 1 回の乗車 100 円程度についての意見であると考えられ、「もう少し長距離になれば構わない」という回答が複数あったことから、「距離」、「長い」などの単語がつながっていると考えられる。「スマートスピーカー」からは「小さい」、「聞き取る」などの単語とつながっており、前述の通りスマートスピーカーの音声案内については改善が必要である。「風」と「気持ち良い」がつながっていることや、「貴重」と「体験」が強く結びついていることから喜びの声がある一方で、「少し」、「心配」という不安の声もある。

表 20 不安の声

不安の声
松江は雨や雪の日が多いので、これからの季節はお年寄りには寒さ対策が必要だと思いました。
乗り心地もよく、快適でした。冬は、少し心配ですね。
雨の日と、老人多少危険か。
雨の日が心配。
怖かった。ガタガタして横転しそうに感じた。椅子のクッションが柔らかいのが落ち着かなかった。
スピードが速くて、歩行者の方に少し気を使っていたかたかも。
スピードが出ると結構揺れます。

表 21 スマートスピーカーについて

スマートスピーカーについて
スピーカーの音声が聞こえにくかった。
もう少しスピーカーの音を大きくしてほしいです。
屋根からスピーカーが欲しい。
スマートスピーカーの音が小さくて、後ろの席では聞き取りにくかった。
スピーカー音量大きくても良い。
スピーカー音量が聞き取りにくいです。
スピーカーの音が小さくて聞き取りにくかった。
音量が小さくよく聞こえなかった。
案内スピーカーが良く聞こえなかった。
スピーカーの音が小さかったけどスピードもよくて乗り心地も良かったです。
最後尾シートでモーター音の為、スマートスピーカーによる観光案内が聞こえなかった。

表 22 料金について

料金について
200 円でも ok です。
300 円でも乗車します。
500 円でも ok
もう少し回ってもらえると 100 円 ok です。
もう少し長い距離なら良いと思います！
100 円乗車賃払うならもう少し長い距離にすると良い。
観光客であれば利用する回数は有料でも増えると思う。
距離によっては出す。
回数券カードや 1 日乗車券、IC カードでも使えるといいかも。
もう少し高くても利用する人はいると思います。
子供は無料にしてほしい。ベンチの座り心地が良かったです。

不安を感じている回答を表 20 にまとめた。悪天候時や高齢者の安全性について述べているも

のや、車体の揺れに不安を感じた人がいたことが分かる。

スマートスピーカーについての意見を表 21 にまとめた。音が聞き取りにくいと感じた人が非常に多く、「屋根からスピーカーが欲しい」という意見も見られた。

料金についての意見を表 22 にまとめた。100 円以上でも構わないという意見がある反面、もう少し距離が長ければ良いという意見も見られた。また、今回は子供連れの利用者も多かったため、「子供は無料にしてほしい」という意見も今後考慮すべきと思われる。

グリーンスローモビリティ 電動カート「Re×hope」実証実験

平成 30 年度 循環型・デマンド型実証実験

アンケート調査結果報告書



2019 年 2 月 6 日

I. 循環型実証実験調査結果

1. 実験概要

本格運行に向けて、停留所を時刻表通りに巡回する循環型の運行を行った。実施地域は生活拠点であるカフェ太郎周辺の安全面に配慮した簡易ルート、うぐいす台団地、法吉団地、比津が丘団地、淞北台、及びイベントで利用した持田公民館である。循環型のアンケートは 241 名の回答を得た。

1.1. アンケート調査結果

表 1 実施地域別割合

実施地域	件数 (実施日数)	割合	平均利用者数
簡易ルート	101(12)	41.91	8.42
比津が丘団地	69(19)	28.63	3.63
うぐいす台団地	38(11)	15.77	3.45
淞北台	17(2)	7.05	8.50
法吉団地	11(9)	4.56	1.22
持田公民館	5(1)	2.07	5.00
合計	241	100	4.46

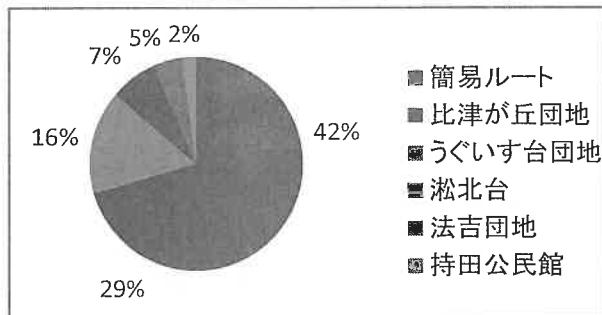


図 1 実施地域別割合

実施地域別に利用者の割合を見てみると、簡易ルートが最も高い。一方で、事前アンケートでは回答者が 38.6%と最も多かった法吉団地が本アンケートでは 4.56%と非常に低く、実施日数で利用件数を割った 1 日の平均利用者数は約 1.2 人であり法吉団地の利用者は少なかったと判断できる。事前アンケートにおいて、法吉団地の回答者は普通免許を持っている割合が高いことや、年齢層が 40、50 代の割合が高かった

ことなどから、利用者が少なかったのではないかと考えられる。他の団地では 1 日の平均利用者数は 5 名以内であるが、淞北台だけは 8.5 人であり最も多かった。淞北台は、本格運行に向けて自治体などが自主的に話し合うなど、Re×hope に対して非常に関心が高いため、利用者数が多かったと考えられる。

表 2 時間帯別の回答件数

時間帯	件数	割合
8:00~8:59	1	0.41
9:00~9:59	29	12.03
10:00~10:59	55	22.82
11:00~11:59	24	9.96
12:00~12:59	14	5.81
13:00~13:59	15	6.22
14:00~14:59	20	8.30
15:00~15:59	20	8.30
16:00~16:59	26	10.79
17:00~17:59	1	0.41
無回答	36	14.94
合計	241	100

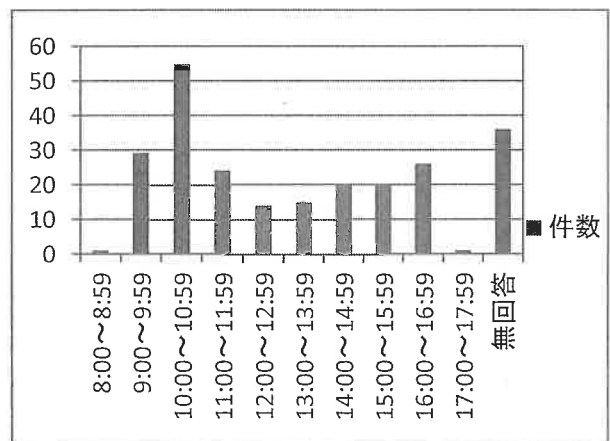


図 2 時間帯別の回答件数

時間帯別に回答件数を見てみると、10 時台に利用した割合が最も高いことがわかる。12 時半から 13 時半の間は運休のためか、12 時から 13 時の間の利用者は少なかった。

表 3 時間帯別外出目的

時間帯	外出目的								総計
	買い物	郵便局	病院	食事	視察	体験	散歩	その他	
9:00～9:59	8	1	3	0	0	11	0	0	23
10:00～10:59	16	0	4	0	14	20	6	2	62
11:00～11:59	3	0	1	0	9	11	1	0	25
12:00～12:59	0	0	0	1	7	4	3	0	15
13:00～13:59	9	2	2	1	0	3	0	0	17
14:00～14:59	6	2	1	2	2	8	1	1	23
15:00～15:59	5	1	0	1	1	9	2	2	21
16:00～16:59	0	0	0	0	3	1	22	0	26
無回答	9	0	5	0	4	19	1	1	39
総計	56	6	16	5	40	86	36	6	251

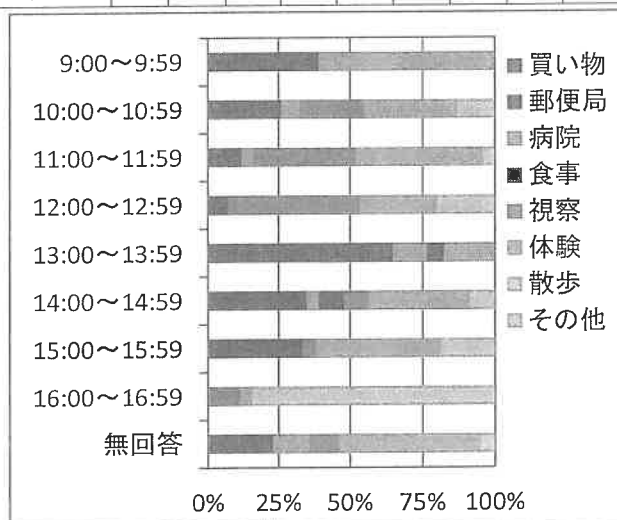


図 3 時間帯別外出目的

時間帯別に外出目的を見ると、買い物の割合が午前では9時台が最も高く、午後では13時台が最も高かった。この買い物をする時間帯

はカフェ太郎を中心とした循環型のサービスを提供し、それ以外の時間帯でデマンド型のサービスを提供するなどの方法も考えられる。また、16時台は約85%が散歩目的で外出していることがわかる。

表 4 実施地域別乗車地

実施地域	乗車地							総計
	カフェ太郎	はなうみ苑	すまいる苑	うぐいす台	比津が丘会館	比津が丘簡易郵便局	無回答	
簡易ルート	25	3	0	14	10	1	45	98
うぐいす台団地	15	7	0	9	0	0	3	34
比津が丘団地	12	1	2	0	4	40	4	63
法吉団地	2	4	4	0	0	0	0	10
総計	54	15	6	23	14	41	52	205

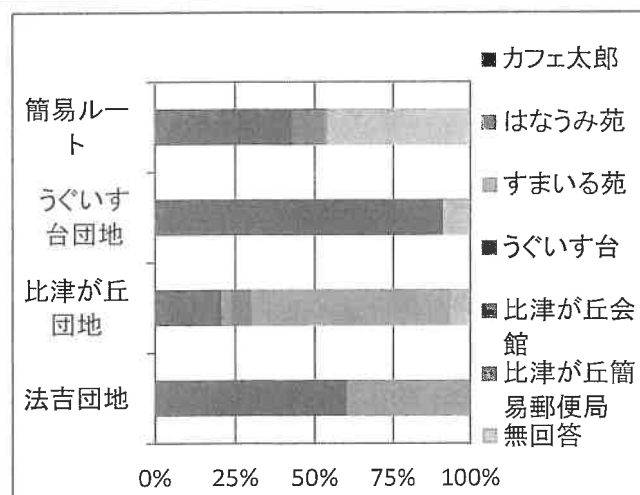


図 4 実施地域別乗車地

実施地域別に乗車地を見てみると、うぐいす台団地の利用者の多くはカフェ太郎で乗車し、比津が丘団地の利用者は比津が丘簡易郵便局で乗車する割合が非常に高いことがわかる。このことから、うぐいす台団地ではカフェ太郎、比津が丘団地では簡易郵便局を中心とした運行は

適していると考えられる。また、法吉団地では老人ホームの利用者が多いことも特徴の1つといえる。

表 5 外出目的

外出目的	件数
体験	87
買い物	57
視察	40
散歩	36
郵便局	16
病院	16
食事	5
その他	6

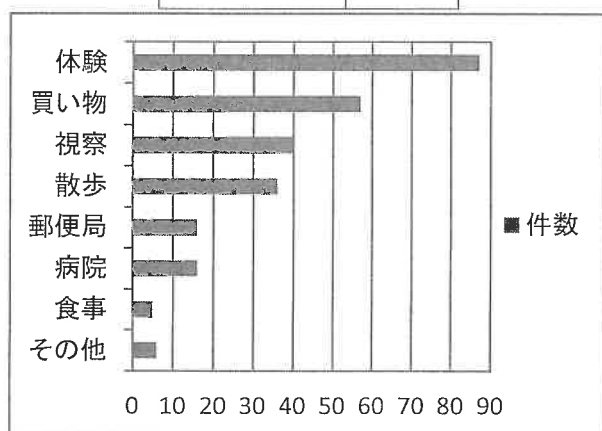


図 5 外出目的

表 6 実施地域別外出目的

実施地域	外出目的								総計
	買い物	郵便局	病院	食事	視察	体験	散歩	その他	
簡易ルート	26	3	13	2	14	48	0	1	107
うぐいす台団地	11	0	0	2	10	12	5	2	42
比津が丘団地	17	3	1	1	12	8	31	2	75
法吉団地	3	0	2	0	4	2	0	1	12
総計	57	6	16	5	40	70	36	6	236

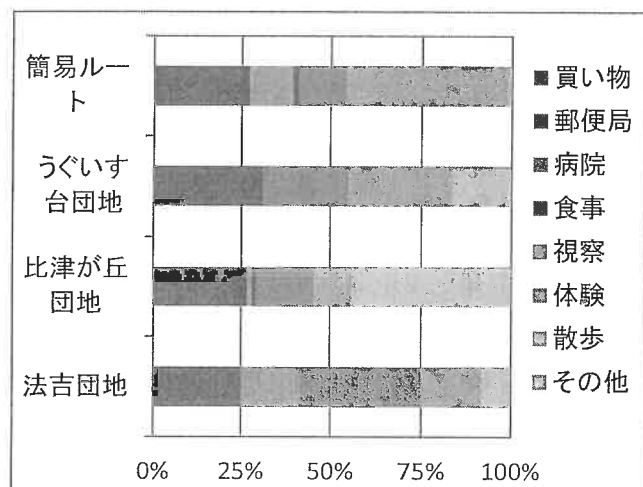


図 6 実施地域別外出目的

実施地域別に外出目的を見てみると、いずれの地域も買い物目的の利用者の割合が約25%を占めていることがわかる。このことから、近隣の商店にアクセスしやすい運行ルートが求められる。

表 7 利用先

利用先	件数
カフェ太郎	74
ハロー	52
比津が丘郵便局	26
ウェルネス	18
団地内	11
バス停	8
淞北台会館	7
ATM	6
病院	4
まるちゃんストア	3
自宅	2
その他	10

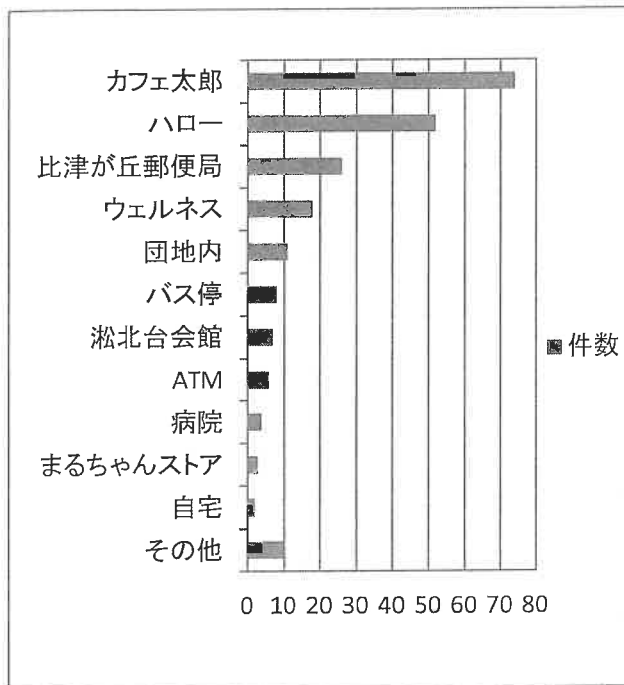


図 7 利用先

表 8 実施地域別利用先

実施地域	利用先									総計
	ハロー	カフェ太郎	ATM	バス停	比津が丘郵便局	ウェルネス	湊北台会館	団地内	その他	
簡易ルート	19	35	5	3	2	17	0	5	5	91
うぐいす台団地	8	23	0	0	1	0	0	2	2	36
比津が丘団地	20	12	0	1	23	1	0	0	3	60
法吉団地	5	4	1	0	0	0	0	2	0	12
湊北台	0	0	0	4	0	0	7	2	0	13
総計	52	74	6	8	26	18	7	11	10	212

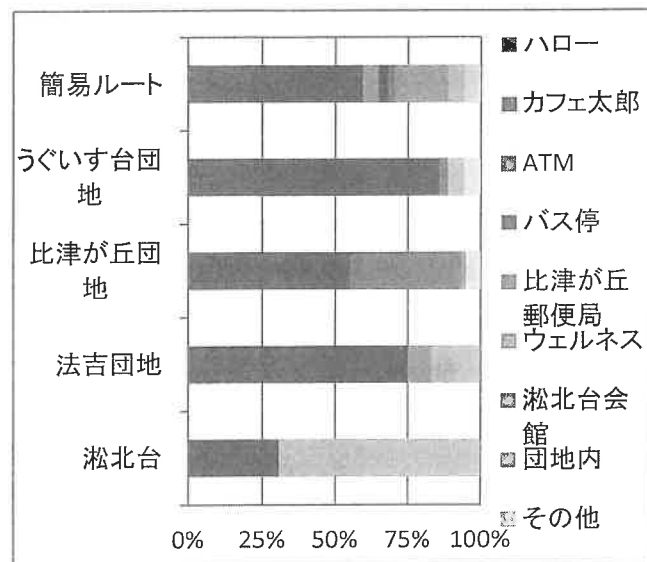


図 8 実施地域別利用先

全体的に利用先がカフェ太郎の回答の割合が高いが、実施地域別に見てみると特にうぐいす台団地の利用者が多くの割合を占めている。また、カフェ太郎の次に回答数の多いハローはカフェ太郎と隣接していることから、湊北台以外のいずれの地域もこの近辺への運行の需要は高いと考えられる。

表 9 乗り心地について

乗り心地	件数	割合
良い	215	89.21
普通	19	7.88
悪い	3	1.24
無回答	4	1.66
合計	241	100

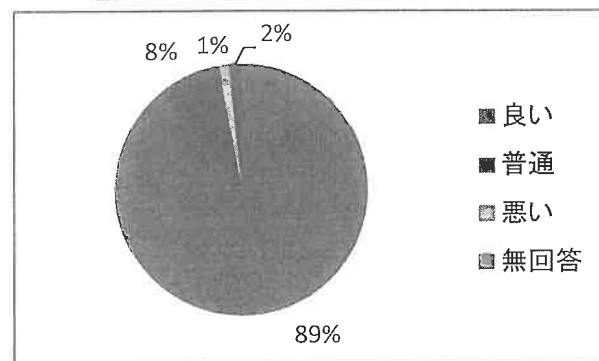


図 9 乗り心地について

表 10 乗り心地についての感想

乗り心地	理由
良い	音も静かで、風が気持ち良かったです。
	速度がゆっくりで安心感があり乗り心地もとても良かったです。
	スピードが丁度良く、景色を見ながらゆったりとした気持ちで乗れました。
	タイヤ径が大きく振動が少ない。
	想像よりサスがよく動き、段差への抵抗感が少ない。
	加速が滑らかでした。
	思った以上に快適
	もっと乗っていたい
	楽しかった
	新鮮でわくわくした
	色々お話し下さる
普通	カーブや交差点右左折時揺れ有り
	若干揺れる。
	横揺れを感じた
	今日は日和に恵まれたが、風雪など悪天候の日には不安もある。
悪い	道路の凹凸をそのまま拾っている。
	シートが座った感じ悪い。揺れる。

乗り心地についての回答を見てみると、「良い」の回答が 89.21%、「悪い」の回答がわずか 1.24%と高い評価を得られた。乗り心地の回答における理由を抜粋して表 10 にまとめた。揺れが少ないという理由で「良い」と回答した人もいたが、それに反し揺れたという理由で「悪い」と回答した人もいた。揺れに対する反応は個人差があるが、極力揺れに不安を感じる利用者が減るよう改善をしていく必要があると思われる。

表 11 運行ルートについて

運行ルート	件数	割合
良い	171	72.46
普通	37	15.68
悪い	0	0.00
無回答	28	11.86
合計	236	100

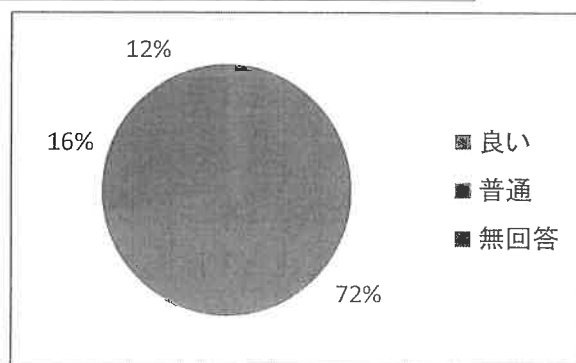


図 10 運行ルートについて

運行ルートについての回答を見てみると、「良い」の回答が 72.46%、「悪い」の回答が 0%と高い評価を得られた。運行ルートの回答における理由を抜粋して表 12 にまとめた。団地内でもあまり通らない道を通ったことに対して好意的な意見が多く見られた。また、高台団地であることから坂道について述べている回答も見られた。

表 12 運行ルートについての感想

運行ルート	理由
良い	坂道等の状況もわかりました。
	カーブや坂道などあり運行ルートとして良い
	団地をゆっくり眺められて良かった
	行ったことない場所が通れたので良かった
	郵便局で待っているとすぐ来てくれる
	止まるときがあって長いからいい
	便利そう
	ドアツードア的であればおもしろいと思います
普通	知らない場所も通った
	あまり通らない道を通った
	遊園地へ行った気持ちになりました。もっと乗ってみたいと…

表 13 到着時間について

到着時間	件数	割合
良い	188	79.66
普通	28	11.86
悪い	0	0.00
無回答	20	8.47
合計	236	100

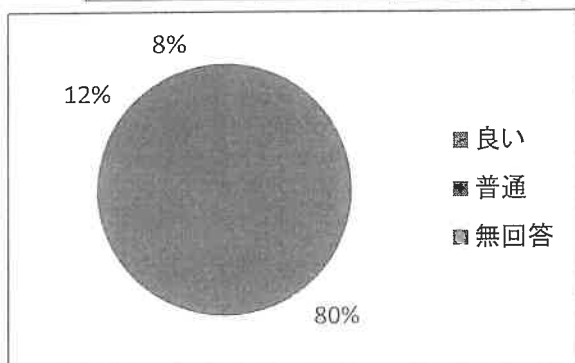


図 11 到着時間について

到着時間についての回答を見ると、「良い」の回答が 79.66%、「悪い」の回答が 0%と高い評価を得られた。このことから、電動カートを利用した場合の移動時間に対して不満を抱いている利用者はほぼいないと判断できる。

表 14 日常の移動の際に交通手段がなく困ったことがあるか

困ったこと	件数	割合
ない	129	53.53
ある	73	30.29
無回答	39	16.18
合計	241	100

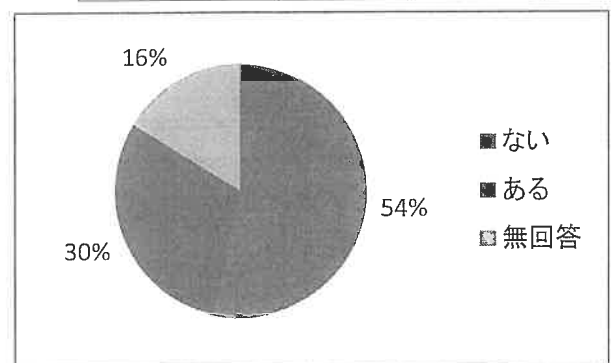


図 12 日常の移動の際に交通手段がなく困ったことがあるか

表 15 実施地域別日常の移動の際に困ったこと

実施地域	日常の移動の際に交通手段がなく困ったこと			
	ない	ある	無回答	総計
簡易ルート	49	33	19	101
うぐいす台団地	23	9	6	38
比津が丘団地	42	13	14	69
法吉団地	6	5	0	11
淞北台	6	11	0	17
持田公民館	3	2	0	5
総計	129	73	39	241

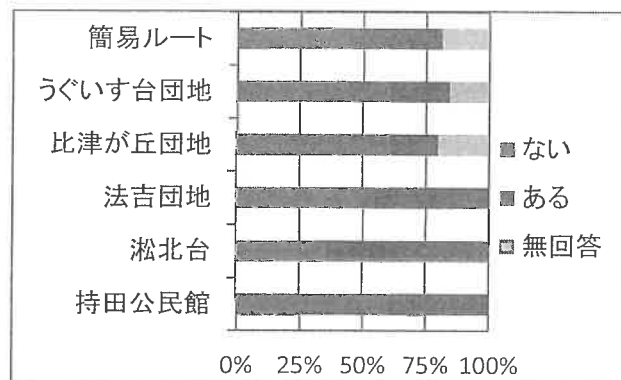


図 13 実施地域別日常の移動の際に困ったこと
日常の移動の際に交通手段がなく困ったことがあるかという設問に対し、「ない」の回答が 53.53%, 「ある」の回答が 30.29%という結果となった。実施地域別に回答を見てみると、淞北台は「ある」の回答の方が割合が高いことがわかる。

表 16 日常の移動の際に交通手段がなく困った理由

理由
土日祝日はバスの回数が少ない。
コミュニティバスの便数が少なく利用しにくい。
バスの時間が空いていて不便
運転ができる人がおらず、バスなどが走っていない場所に行きたいとき
終電、終バス後
タクシー利用が困難
駐車場がないなど
車を持っていないから
家族が外出した時
車が 1 台しかなくちょっとした買い物に行く時とか(同じ団地内で)
一人暮らしで頼り手がない
自分で運転出来ない時(腰痛で通院)
自分の電動カートが雨が降ると使えないため
ウェルネスまで歩くと遠い
荷物があるとき
坂道が辛い
歩きにくい
たとえば、飲酒時など
通院
雨天の時等
積雪時

日常の移動の際に交通手段がなく困ったことがある場合の理由について抜粋し表 17 にまとめた。バスの便数が少ないことと、車はあるものの本人が運転できない場合が特に多く見られ

た。また、悪天候時についての記述も多かったため、積雪時の運行は難しいが雨天時の運行は需要が高いと思われる。

1.2. 自由記述

表 17 感想等

感想、期待等
今後の実用が楽しみです。真夏や真冬の対策に期待されます。ありがとうございました。
思ったよりスピードもあり、快適だった。怖くなかった。気候のいい時期は特に快適だろうと思った。
最初は、揺れるのが怖いかなと感じたが慣れてきたりバーを握っていればあまり気にならなかった。晴れていて風もあったので乗り心地も良かった。
乗り心地も良く、乗降がしやすい。イベント会場内での移動手段など、多くの人に乘っていただきたい。
地域の方が、手軽に利用できるカートだと思いました。
自転車に乗れなくても、心地良い散歩のような感じで自然に触れれるのが良かった。
お年寄りの方は本当に喜ばれる乗り物だと思いました。もっと広めていただきたいです。
楽しい乗り物であると実感しました。とてもよい乗り物だと思います。段差スムーズです。音が静かで会話が弾みます。雨の時どうなるかも体験したい。
小回りの利く良さをどんどん活かしてください！
運転免許返上した人(近所)の声は日常くらしの足の不便を助けるものとして期待は大です。
思ったより静かで会話ができて楽しかった。
団地や小道などの近距離の移動で活用できそう。
手軽に乗れて、交通手段としては非常に良い。
極めて快適でした。
とても乗り心地が良く、快適でした。団地内について、とても適していると確信しました。
風が気持ち良くて、涼しかったです。あまり通らない道を通ったので良かったです。
普段は杖歩行で歩いてハローまで来る事もあるが、今日は天気も悪かったため、利用出来て良かった。
乗り心地も大変良く、安全であると感じた。地理状況から高齢者の移動に大変便利だと感じました。乗車中の会話等コミュニケーションの場としても役立つのではないのでしょうか。
アレксаで音楽聴ける。涼しくて気持ちいい。
買い物へ行く時丁度いい。
足が痛いので助かります。
日常の移動手段に困った方が、タクシーのようにわずかな人数ではなく、たくさんの人数でお話ししながら移動できるのはとてもとても良いなと思いました。開放的で、移動中も楽しめました。
速い(思ったよりも)。最近足が重くなってきたので、ひょこひょこ歩かなくても良いのは嬉しい。

自由記述欄の内容を分別し、感想や期待等の記述について抜粋し表 18 にまとめた。感謝を述

べるものや今後への期待についての感想が非常に多かった。「音が静かなため会話が弾む」や「団

地内移動に適している」等、サービスの有用性が高まる意見も見られた。

表 18 将来利用したい声

将来的に利用
今のところ元気なので、そのうち利用させてもらいたい。
近い将来、利用したいと思っています。快適でした。
今のところ車の運転が出来ますが、将来的にはこのような制度があると助かります。
今は自動車を運転できるのでいいが、年を取ったらこういったものに頼ることになると思う。自宅から停留所に出てくる事が難しい高齢者もいるのでは？
将来は利用したい。

将来的に利用したいという意見を抜粋し表 19 にまとめた。現在は移動手段に困っていないが、将来は利用したいと考えている人がいることがわかった。こういった人たちのためにも、長期的にサービスを続けていく意義があると思われる。

表 19 運転手について

運転手について
丁寧に運転して頂いて気持ち良く乗れました。
運転手さんが好きな音楽や最新の音楽を流してくれたので嬉しかったです。あと、右折等をする時の声が聞きやすく、高齢者の方も安心できるなあと思いました。
風が涼しくて運転する方が時間を過ぎて待って下さったので良かったです。
風が気持ち良く涼しかった。運転手の人が優しくかった。
運転手の印象がいい！
運転される方が、すごく親切で嬉しかったです。
運転手の態度が良く、息子にしたい程だった。楽しい時間をありがとうございます。

運転手についての感想を抜粋し表 20 にまとめた。運転手への評価が非常に高く、Re×hope 全体の印象を良くする要因になったと思われる。

表 20 不安の声

不安の声
夏場、冬場の走行に課題があると感じた。
積雪時の走行は出来るのか不安。
冬期の寒い時の対策。
風が寒かった。
両側の戸がないので怖いようです。
体を安定させるための取っ手が前側の席にはなく不安定に思った。
アマゾンエコーのインターネット接続がうまくできていないために利用できなかった。

不安を感じている回答を抜粋し表 21 にまとめた。主に悪天候時に関する意見が多かった。また、車内設備に不安を感じたものもあり、安心して乗ってもらえるよう改善していく必要がある。

表 21 要望

要望
次回利用する時は、ウェルネスにも行きたい。
運行範囲をみしまやや城北小学校近くの病院まで行けると良い。ゴミ出しも兼ねて乗降できると良い。乗り心地は良かった。
医者に行く時、片道だけでも利用できると嬉しい。
もう少し足を延ばして運行し、手近な医療施設、コンビニ、スーパーなどへの交通手段として利用できるようになれば重宝できる。自治会、いきいきクラブ、湊寿会の交流館などでの催しに高齢者が参加し易くなる。
思ったより快適で安心して乗らせてもらいました。バス停までの緩やかな坂も一寸疲れますのでバス停まででも助かります。下のスーパーの周辺で降りれるコースがあると良いと思います。
公共交通を補完する意味での役割は大きいと思います。いわゆる幹線であるバス停、駅までのアクセスとして、特に「オールドニュータウン」で導入できれば、高齢者・障がい者のお出かけ手段は広がると思います。既存のバスと連携して取り組んでほしいです。(例)湊北台、東光台、八雲台、雑賀町など団地内にバスが乗り入れていない所へ。
乗り心地は大変良く、利用させてもらいたいと思いますが、私の住宅からは一寸コースが合わず利用しづらいと思います。
昨日も乗車させて頂きました。なくなると困るので毎日乗りに来ないといけないと思っています。デマンドは敷居が高いので、1～2回/週は循環もしてもらおうと良いと思いました。
思ったよりリ・ホープの速度等乗り心地が良い。東光台に利用するため研究が必要と思われ、迂回経路等について。
高齢者には乗りやすいと思います。利用者の定着のためには繰り返し運行することが必要だと思います。まるちゃんストアまで行ける人がだんだん少なくなっている。坂がきつい。毎月20日は60人くらい高齢者が集まる。そういった時に利用されては。
利用者の人数をある程度確保出来るよう住民の意識が高まるよう根気強く宣伝する必要があると思います。
観光地でカートがたくさん走っていたら魅力的だと思います。
団地内での幹線道路より中での細街路での利用には良いと思います。知っている観光地でも違った目線から観光できるのは良いと思います。(スピーカーもついているので)
松江市内全域で運用してほしい。
気持ち良かった。地元にも来てほしい。
高齢者には受け入れられるでしょう。町内が広域のため、極めて有効な移動手段と思いますが、ドアツードアが実現できれば良いと思います。
道路整備の必要性を感じた。(割と揺れたため)
外出時はバスを利用していますが思いがけず乗せて頂き、ありがたかったです。しかも無料でびっくりしました。感謝です。例えば1時間に1本あれば、100円払ってもありがたいです。
後ろの荷台に荷物をのせましたが、荷台にネットがあると安心だと思います。

EV は走行時音が静かなため、歩行者に認知していただけるようにメロディーを鳴らす方法もあると思います。
ドライバー用指示器があれば良いと思います。
今日は風があり、乗っていて寒さを感じましたが、レインカバーを降ろしてもらい暖かくなり良かったです。これから寒くなるので、その事も考えていってもらいたいと思いました。
今、どこを走っているかなどのモニターがあると嬉しいです。
思ったより安定感あり。冬の雪対策としてスノータイヤ、出来ればワイヤーが自動にならないか。
細かな希望に答えていただくと喜びます。

要望を抜粋し表 22 にまとめた。特にウェルネスなどのスーパーの周辺まで行きたいという運行ルートに関する意見が多く見られた。そのほ

かにも様々な要望があるため、本格運行に向けて積極的に取り入れていくことが重要である。

1.3. 共起ネットワーク

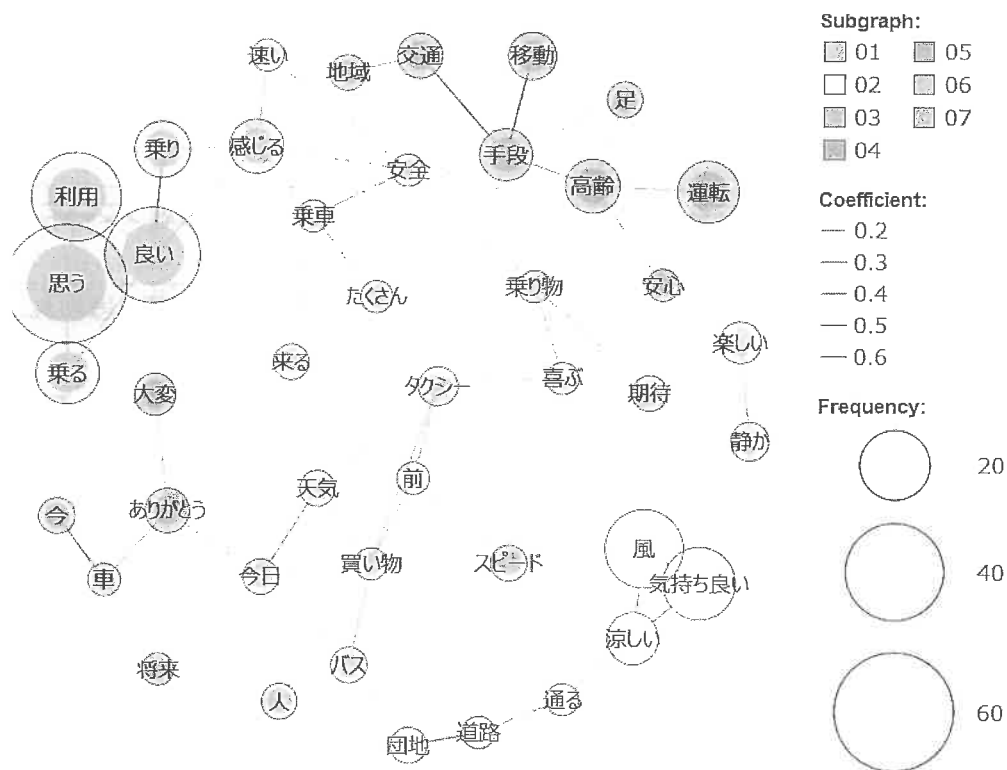


図 14 共起ネットワーク

自由記述の回答を共起ネットワークによって分析を行った。今後も利用したい等の感想が多く見られたため、「利用」、「良い」、「思う」の出現率が高いことがわかる。全体的に感謝や期待等の前向きな意見が非常に多い結果となった。

Ⅱ. デマンド型実証実験調査結果

1. 実験概要

本格運行に向けてデマンド型の実証実験を行った。予約方法は、基地局へ直接訪れるか、電話予約の2種類である。実施地域はうぐいす台団地、法吉団地、比津が丘団地、湊北台である。利用者数は247名であり、アンケートは44名の回答を得た。

1.1. アンケート調査結果

表 22 時間帯別利用者数

時間帯	件数	割合
9:00～9:59	4	9.09
10:00～10:59	3	6.82
11:00～11:59	10	22.73
12:00～12:59	3	6.82
13:00～13:59	1	2.27
14:00～14:59	10	22.73
15:00～15:59	8	18.18
16:00～16:59	2	4.55
無回答	3	6.82
合計	44	100

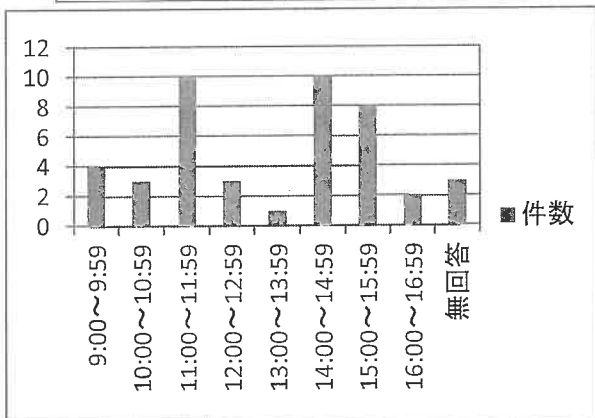


図 15 時間帯別利用者数

表 23 時間帯別外出目的

時間帯	外出目的									
	買い物	郵便局	病院	食事	視察	散歩	バス停	はなうみ苑	帰宅	その他
9:00～9:59	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0
10:00～10:59	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0
11:00～11:59	6	2	1	2	1	0	0	0	0	0
12:00～12:59	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
14:00～14:59	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0
15:00～15:59	0	0	0	0	4	0	1	1	0	1
総計	9	3	3	2	6	2	1	1	1	1

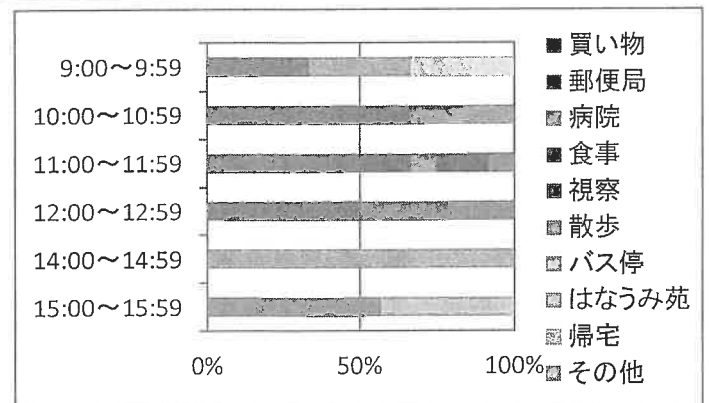


図 16 時間帯別外出目的

時間帯別に利用者数を見ると、11 時台と 14 時台が特に多かった。11 時台は買い物目的で利用する人が多いことがクロス集計にてわかった。循環型サービスでも、この時間帯は買い物目的の人が多くがわかっている。一方で、14 時から 16 時の間は買い物目的以外の利用者が多いため、11 時台は買い物ができる生活拠点を中心とした循環型のサービスを提供し、14 時から

デマンド型のサービスを提供するなど、時間帯によって２つの運行形態を使い分けるような方法も考えられる。

表 24 外出目的

外出目的	件数
買い物	11
視察	6
郵便局	3
病院	3
食事	2
散歩	2
はなうみ苑	1
バス停	1
帰宅	1
その他	1

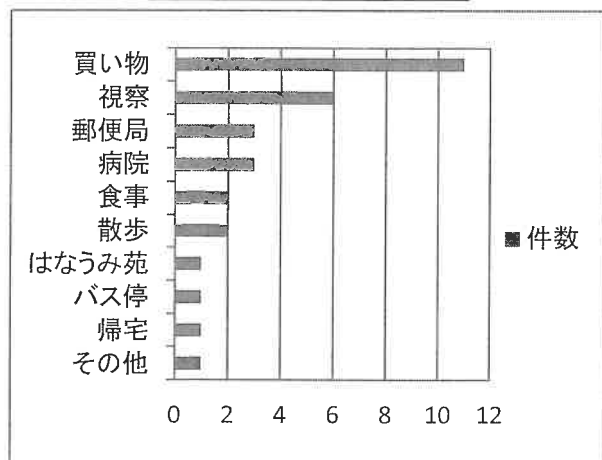


図 17 外出目的

また、全体の外出目的を見ると、買い物目的の利用者が多いことがわかる。このことから、電動カートを利用した買い物サービスは需要が高いと考えられるため、近隣の商店と連携していくことが重要である。

表 25 乗車地別利用者数

乗車地	件数	割合
カフェ太郎	13	29.55
はなうみ苑	8	18.18
自宅	5	11.36
法吉神社	4	9.09
すまいる苑	2	4.55
シリウス苑	1	2.27
うぐいす台	1	2.27
比津が丘簡易郵便局	1	2.27
しみず内科	1	2.27
淞北台	1	2.27
無回答	7	15.91
合計	44	100

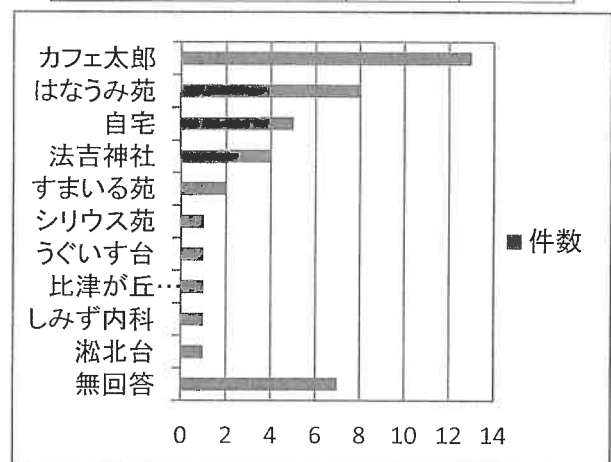


図 18 乗車地別利用者数

乗車地別に利用者数を見ると、カフェ太郎、はなうみ苑、自宅の順に多いことがわかる。デマンド型は個人の利用目的によって乗降車地はかわっていくと思われるが、カフェ太郎の乗車件数が多いことは今後の運用方法を考えていくうえで重要である。

表 26 予約方法について

予約方法	件数	割合
予約しやすい	23	52.27
普通	7	15.91
事前予約なし	4	9.09
予約しにくい	1	2.27
無回答	9	20.45
合計	44	100

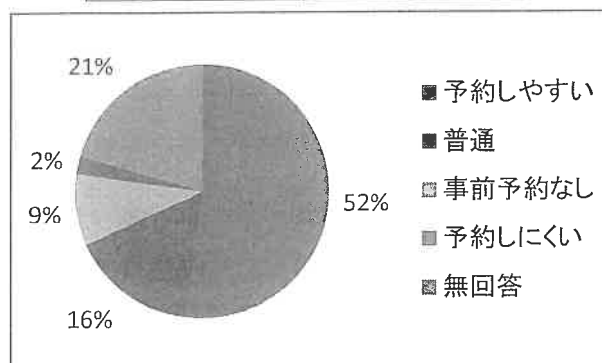


図 19 予約方法について

予約方法についての設問では、「予約しやすい」、「普通」が約 7 割を占めており、回答の理由として、電話で予約できることや対応が良かった、などの記述があった。このことから、予約方法は適切であると判断できる。

表 27 利用のしやすさ

利用のしやすさ	件数	割合
利用しやすい	32	72.73
普通	4	9.09
利用しにくい	0	0.00
無回答	8	18.18
合計	44	100

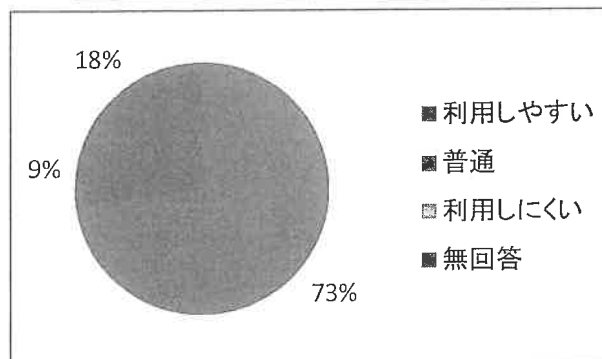


図 20 利用のしやすさ

利用のしやすさについての設問では、「利用しやすい」、「普通」が約 8 割を占めており、「利用しにくい」の回答がゼロであったことから、デマンド型のサービスは利用しやすいと判断できる。また、「利用しやすい」と回答した理由として、荷台にシルバーカーを積んで頂いたから、という記述があり、荷台についての評価も得た。

表 28 乗り心地について

乗り心地	件数	割合
良い	36	81.82
普通	4	9.09
悪い	2	4.55
無回答	2	4.55
合計	44	100

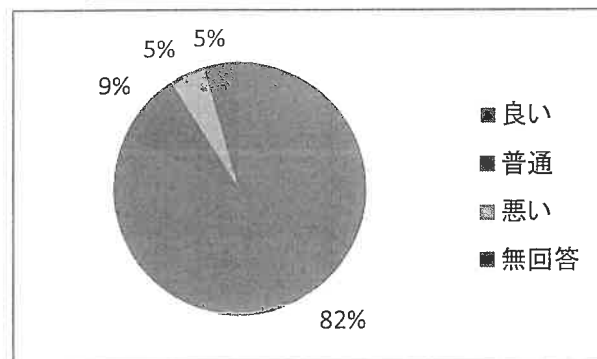


図 21 乗り心地について

乗り心地についての設問では、「良い」、「普通」が約 9 割を占めており、高い評価を得られた。一方で、「悪い」と回答した人の理由は車体の揺れに関してであったため、可能な限り揺れを軽減させていくことが課題となる。

表 29 到着時間について

到着時間	件数	割合
良い	37	84.09
普通	4	9.09
悪い	0	0.00
無回答	3	6.82
合計	44	100

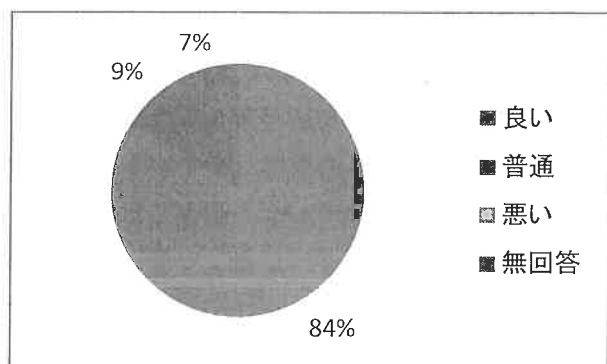


図 22 到着時間について

到着時間についての設問では、「良い」、「普通」が約 9 割を占めており、「悪い」の回答がゼロであったことから、到着時間については高評価であると判断できる。

表 30 日常の移動の際に交通手段がなく困ったことがあるか

日常の移動	件数	割合
ある	24	54.55
ない	14	31.82
無回答	6	13.64
合計	44	100

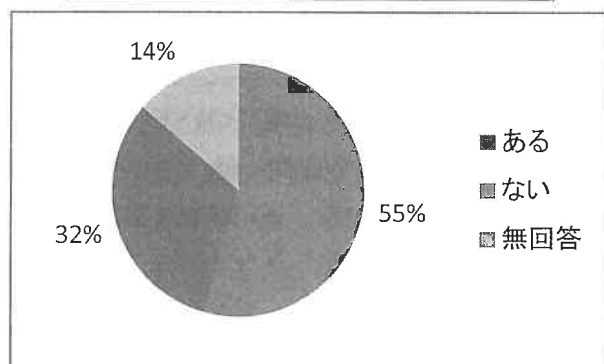


図 23 日常の移動の際に交通手段がなく困ったことがあるか

表 31 日常の移動の際に交通手段がなく困ったこと

日常の移動の際に交通手段がなく困ったこと
足が最近思ったように動かない
足がなくて出られない
薬が足りなくなった時
病院、通院他
買い物や近隣の移動など
バスの無い時
お酒の出る会合など
買い物に行く時など
雨風がひどい時

日常の移動の際に交通手段がなく困ったことがあるかという設問に対し、循環型のアンケートでは「ない」の回答の方が多かったが、デマンド型の本アンケートでは「ある」の方が多いことがわかった。困ったことがある場合の理由について表 10 にまとめた。歩いて移動することが困難な人がいることから、自宅の前まで走行可能なデマンド型のサービスは需要が高いと考えられる。

表 32 感想等

その他
珍しいのもあってか、何だか乗っていても楽しい。木曜日は移動率が高いとの事でしたので早目の予約をしても宜しいでしょうか？何卒宜しくお願いします。
ハローに知り合いがいて、買い物してあげると喜ぶので嬉しい。またぜひ来てほしい。
何度も乗車させて頂きありがたい。これからもよろしくお願いします。
〇〇さんのおかげで老人会の活動や普段の生活ができています。Re×hope で2人で話しながら買い物できて喜んでいる。
ありがとう
頻繁に来てほしい
運転をする人が音楽や話をしてくれたり、気遣いがとても良かった。
買い物に来る時に良い
細かいお願いや相談を聞いてくれて良かった。
最高。静かで良い。
初めて乗車させていただきます。感謝いたしました。3年ぶりで心がふらつきましたが、だんだん元気になったので Re×hope で出掛けたいと思います。ありがとうございました。
法吉神社まで行って下さるとは思っていなかったのですが、私の場合当分利用はしないかなと思っていました。しかしウェルネス、みしまや、いないには時々行きますので今後法吉神社利用はさせて頂きたいと思います。今日は下車後小松クリニックへ予約時間より5～6分前に着きました。大変ありがとうございました。
法吉神社は運行ルートに入っていないと思い込んでいたのですが、ウェルネス、みしまや、いないへ行く事はよくあるので今後利用させて頂いて下さい。今日はご丁寧にお電話頂き乗せて下さって助かりました。本当にありがとうございました。
買物が多い時、雨の日などに利用するとよいと思います。
電話したらすぐに来てくれる事
大変よろしい
雨、雪の日が大変。背もたれ、腰を痛めていると、隙間が痛い。座布団を間に敷いてほしい。
雨の日には助かる。
いつも助かります。
良かった。
12月16日で試験的な運行は終了との事ですが、年寄りにとってはあった方が非常に便利です。

自由記述欄の感想を抜粋し表 11 にまとめた。

感謝や喜びの言葉が多く、デマンド型のサービスが好評であると判断できる。一方で、運行ルートに関する要望や、車内の座席についての要望もあり、これらの意見をもとに改善していく必要がある。

1.2. 共起ネットワーク

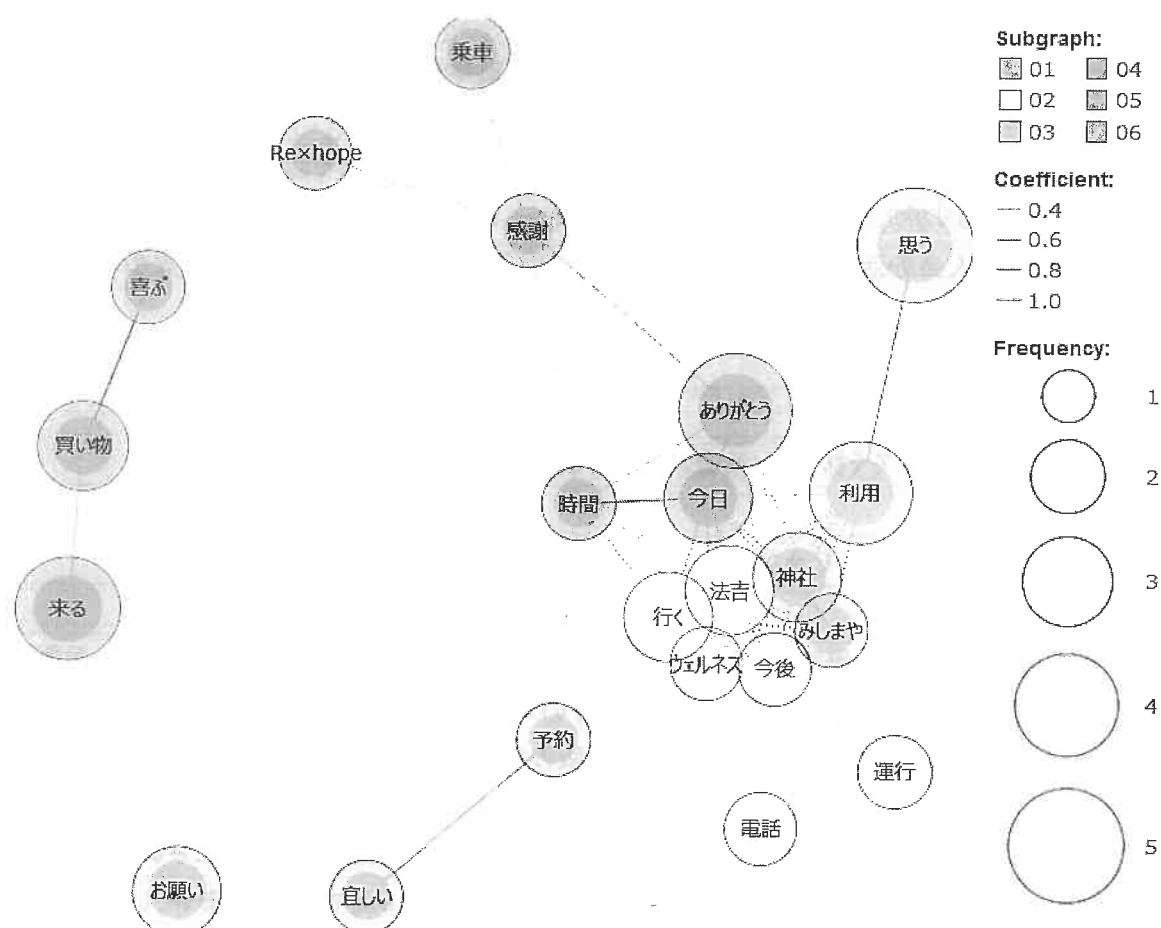
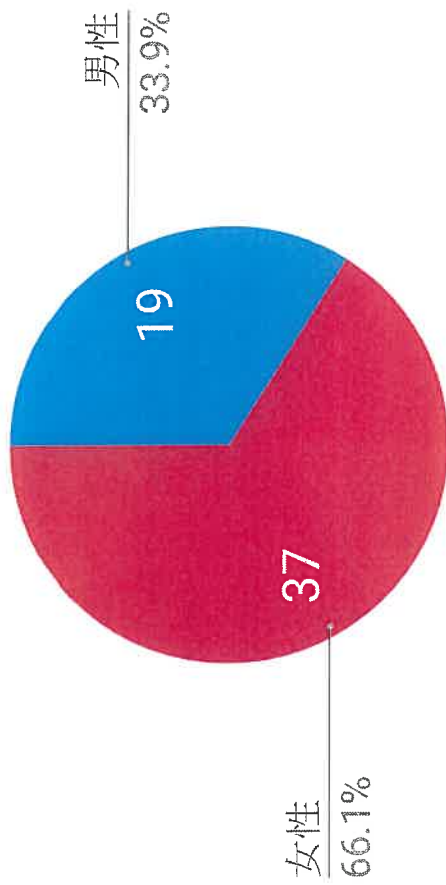


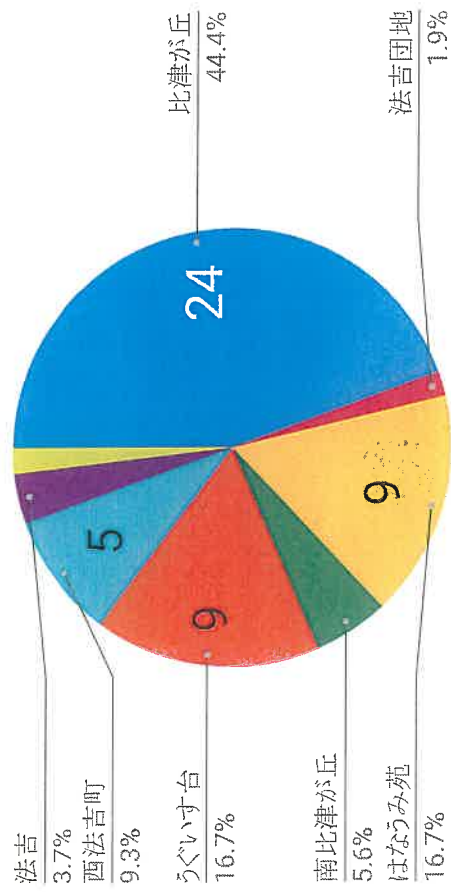
図 24 共起ネットワーク

自由記述の回答を共起ネットワークによって分析した。「Re×hope」と「乗車」,「感謝」が強く結びついていることから、電動カートに感謝をしている利用者が多いことがわかる。また,「予約」と「宜しい」が強く結びついていることから、デマンド型は移動サービスとして有用性があると判断できる。

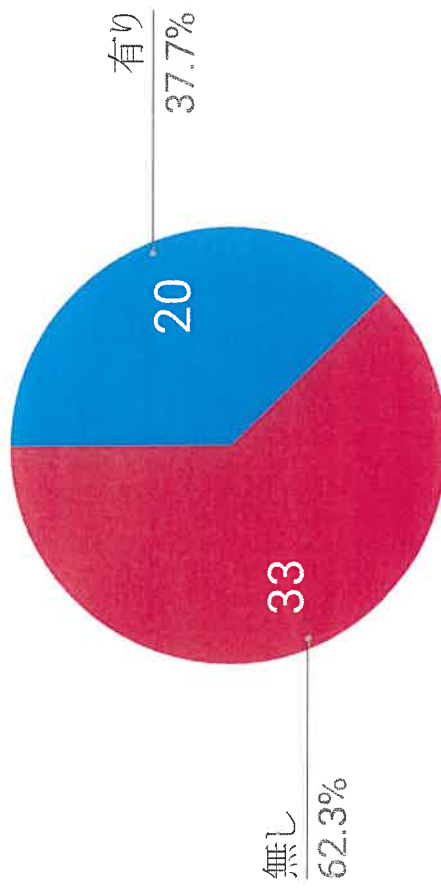
乗客 男女比率



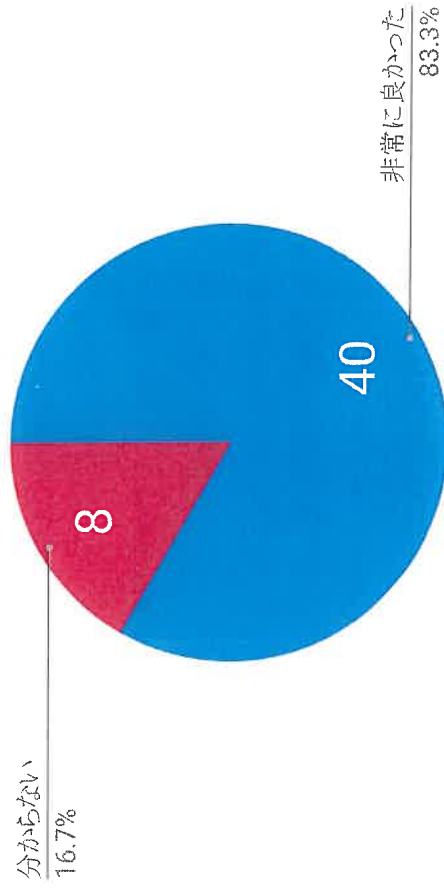
乗客居住地比率



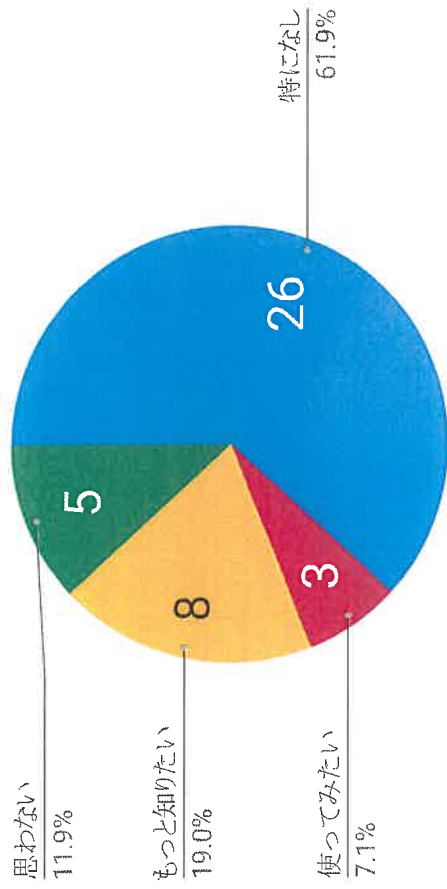
運転免許の有無



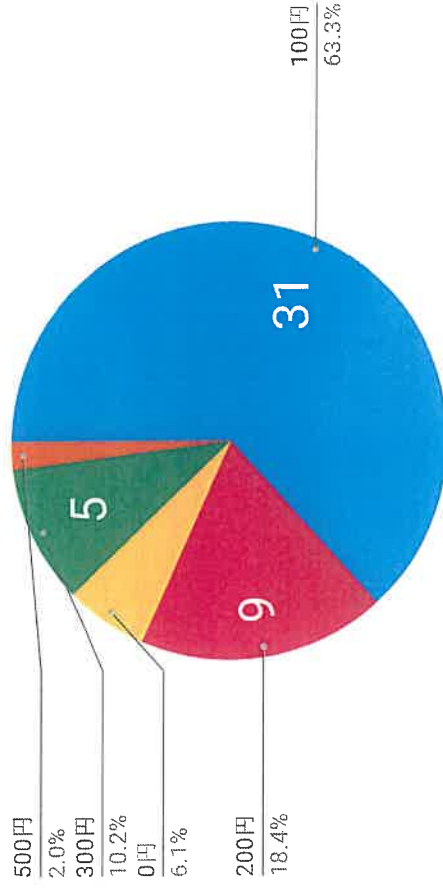
実験全体の評価



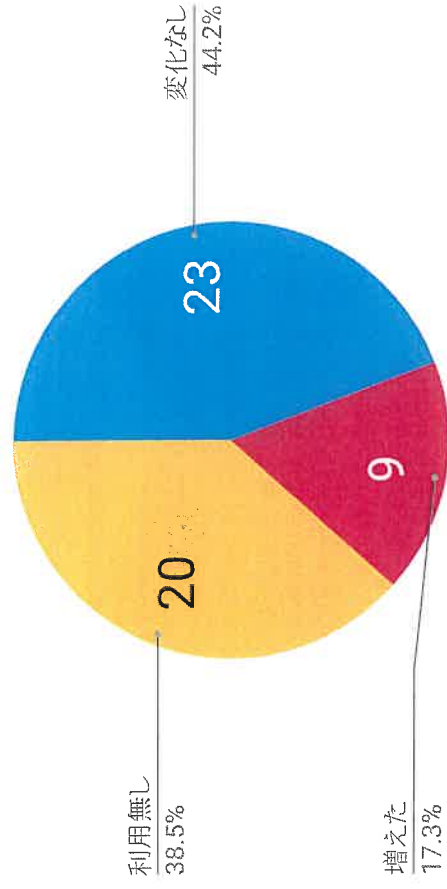
スマートスピーカーをどう思うか



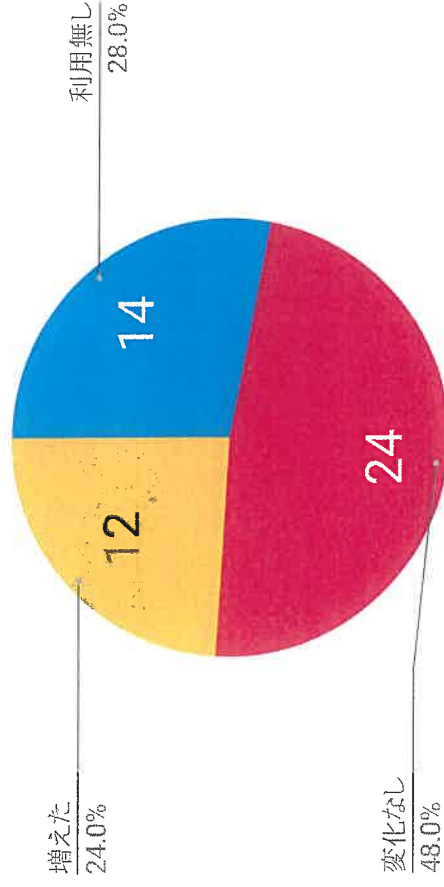
有料の場合いくらなら利用するか



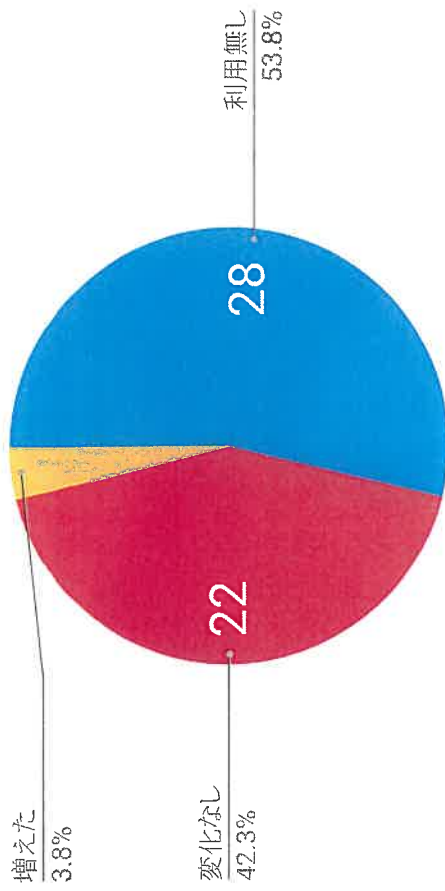
ATMの利用頻度



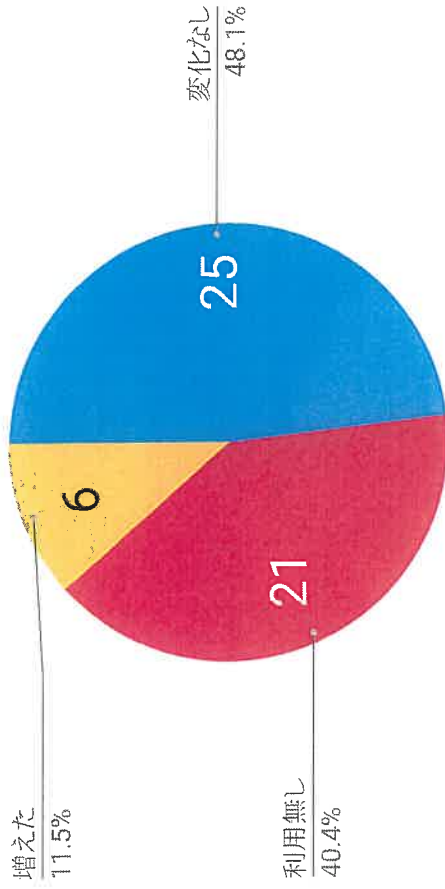
ハローの利用頻度



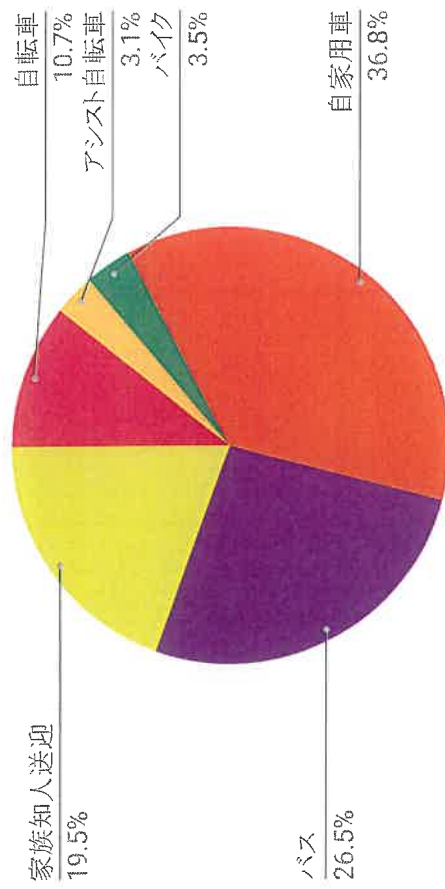
医院の利用頻度



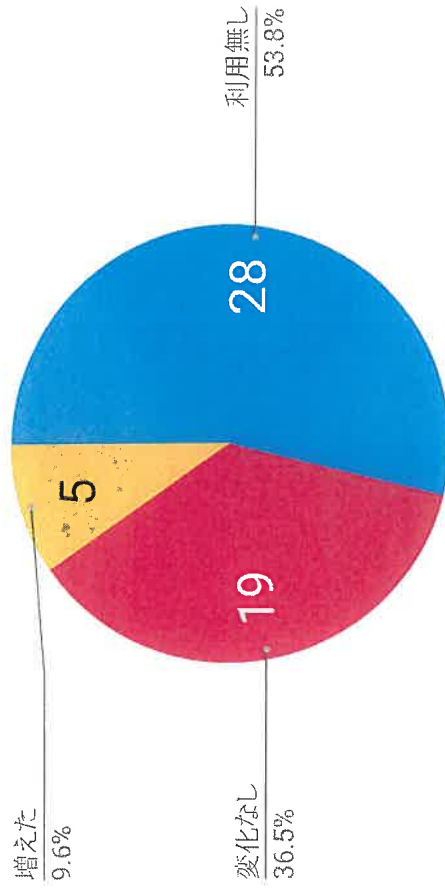
郵便局の利用頻度



普段利用されている交通手段



バスの利用頻度



グリーンスローモビリティの 本格運行に向けた実証実験の分析

松江工業高等専門学校

村上研究室

D1436 三代香織

1. はじめに

グリーンスローモビリティとは

- 最高速度が時速20km未満
- 4人乗り以上
- 電気自動車



- 狭路に入れる
- 高齢者が乗りやすい

- バス



便数が少ない、地域内移動に不向き

- タクシー



利用するほどの距離ではない

- 高台団地



高齢者にとっては大きな負担



グリーンスローモビリティを活用した 新たな移動サービスの実現可能性を検証

※将来的には観光モビリティとしても検討

2. 実験概要

- 期間

平成30年9月2日～12月16日

- 場所

- 比津が丘団地、法吉団地、
うぐいす台団地、淞北台団地
- 不昧公200年祭イベント、各地域イベント等

- 運行台数

4人乗り1台、7人乗り1台

- 運行形態

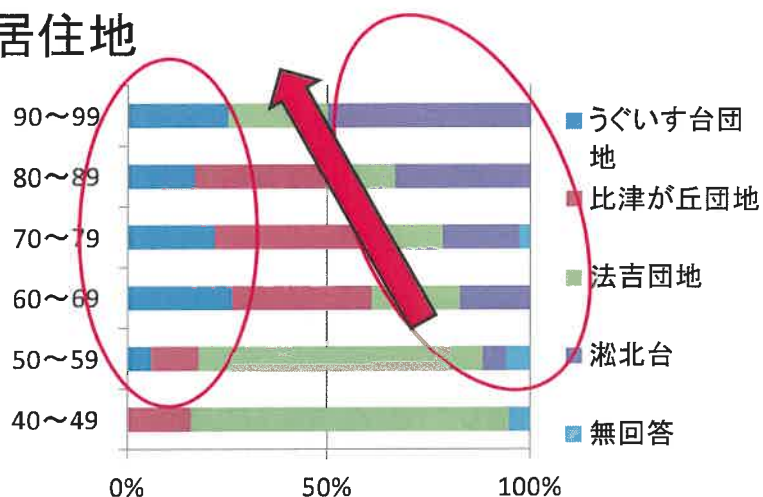
- ① イベント型実証実験
- ② 循環型実証実験
- ③ デマンド型実証実験

3. 事前アンケート

- 対象:対象地域の住民
 - 配布数:340世帯、800名程度
 - 回答者数:127名
 - アンケート内容(一部抜粋)
 - ・ 年齢
 - ・ 普通免許の有無
 - ・ 居住地
- etc...

3.1. 調査結果

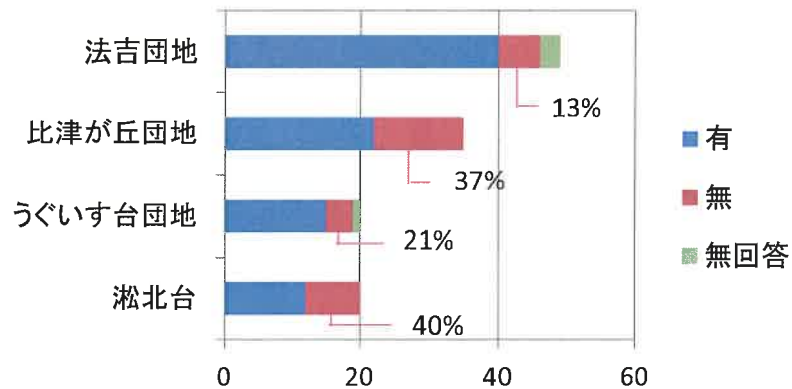
・ 年齢と居住地



- ・ 湊北台、うぐいす台団地が高齢者の割合が高い

サービスの需要が高い

- 居住地と普通免許



・法吉団地
・うぐいす台団地
→ 持っていない
割合低

・比津が丘団地
・湊北台
→ 持っていない
割合高

比津が丘団地もサービスの需要が高い

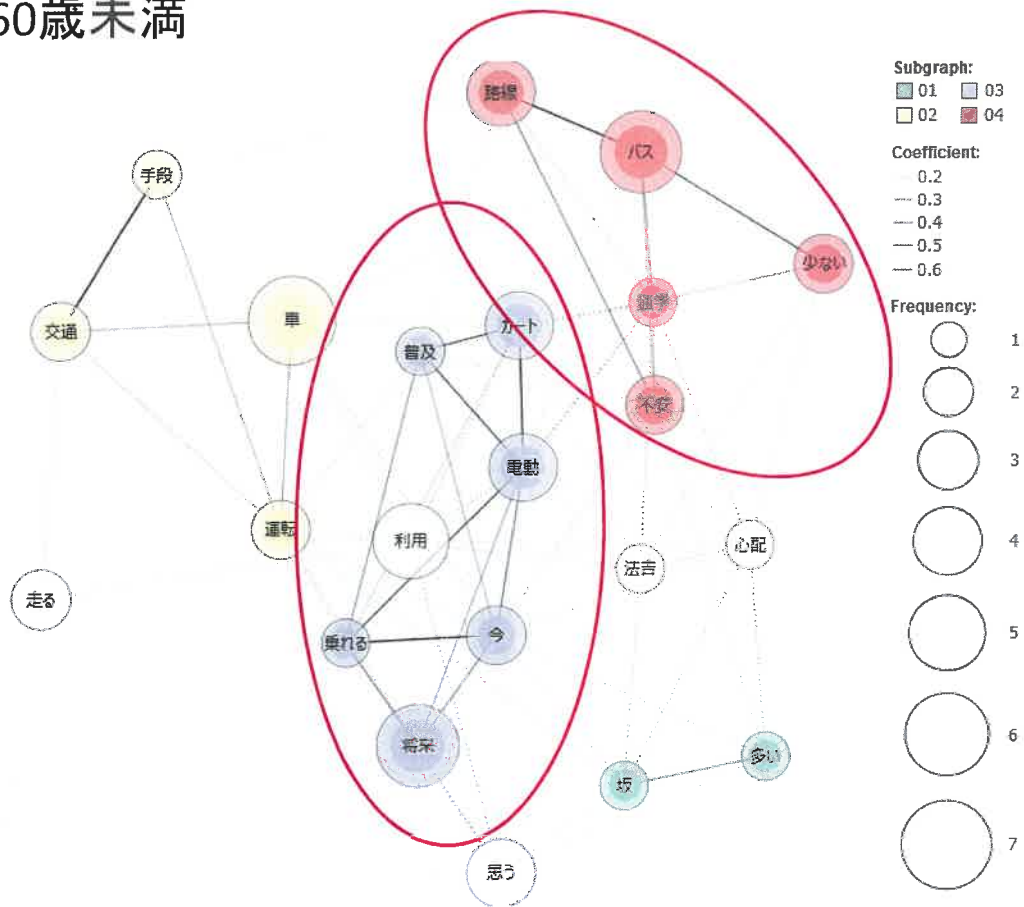
3.2. 共起ネットワーク分析

共起ネットワークとは

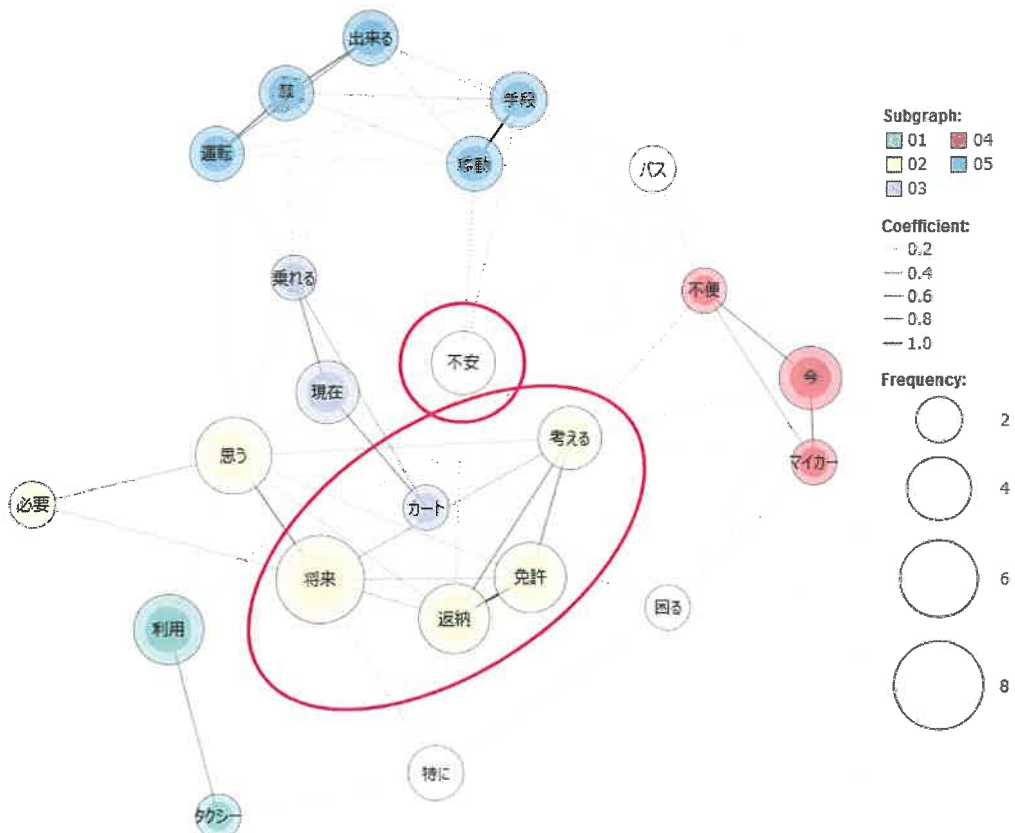
- 文章中で頻繁に共起する単語を線で結んだ図
- 出現数が多い単語ほど大きい
- 共起の程度が強いほど線が太い



• 60歳未満



• 60歳以上



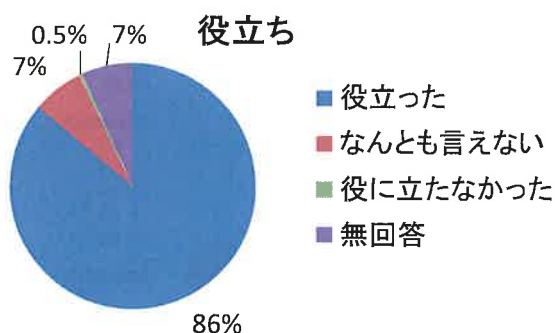
4. イベント型実証実験

《不昧公200年祭》

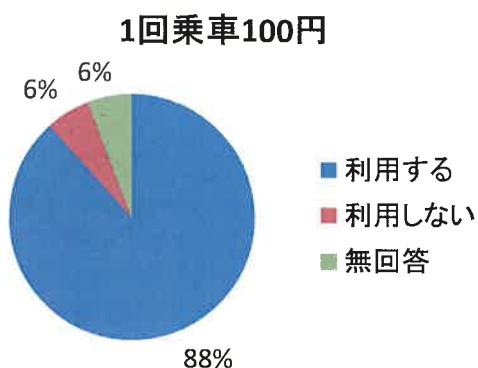
- 実施日
 - ・ 9月15日～17日
(3日間)
- 乗降場
 - ・ A、B、Cの3つ
- 述べ乗客数
 - ・ 493人
- 回答数
 - ・ 223件



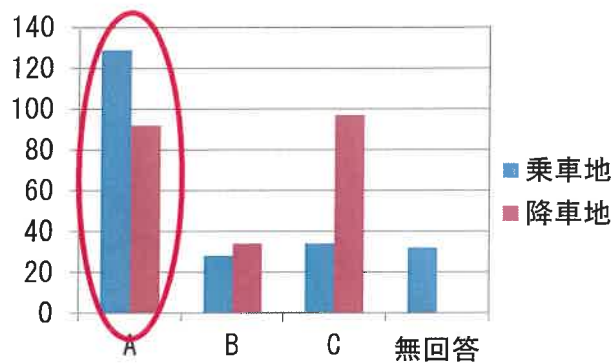
4.1. 調査結果



- ・ 利用者から好評
- ・ 運賃100円でも利用者有



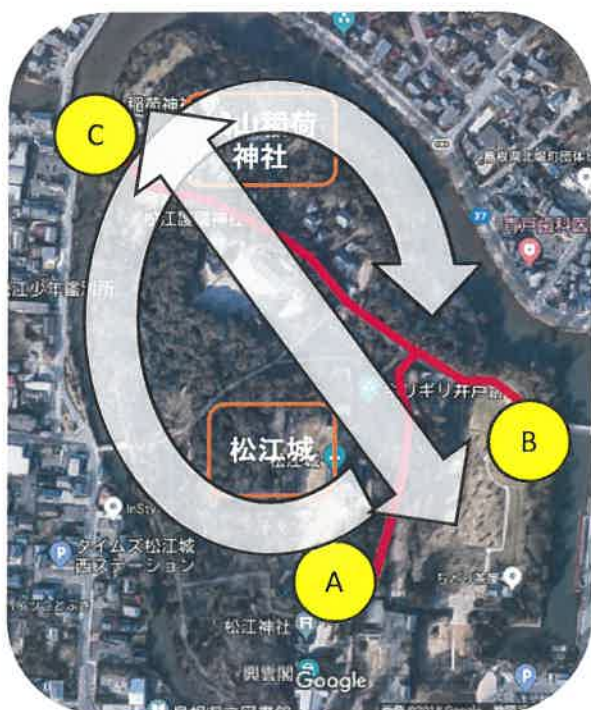
観光モビリティとしての適用性有



- 松江城付近のA
- 小泉八雲記念館付近のC
- Bの乗降は少ない



Aは乗降者ともに多かった



通常時



時計回り

電動カート走行時



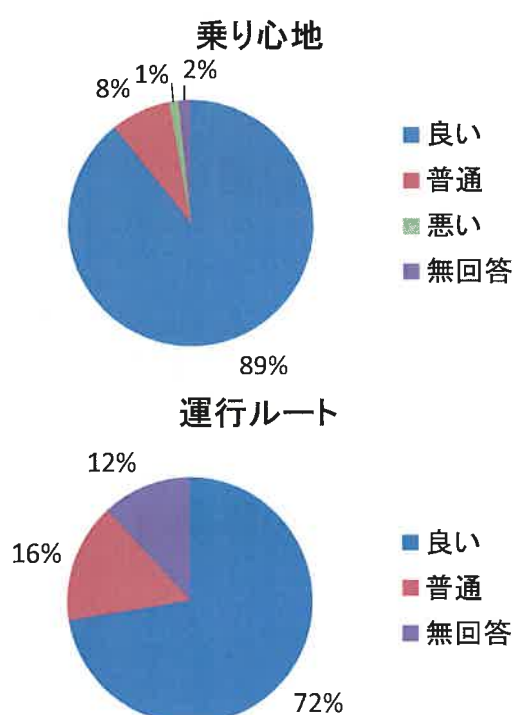
AC間の移動増

5. 循環型実証実験



- 小さな拠点を中心とした、高台団地の住民に対する移動サービスの提供
- 時刻表通りに各停留所を巡回

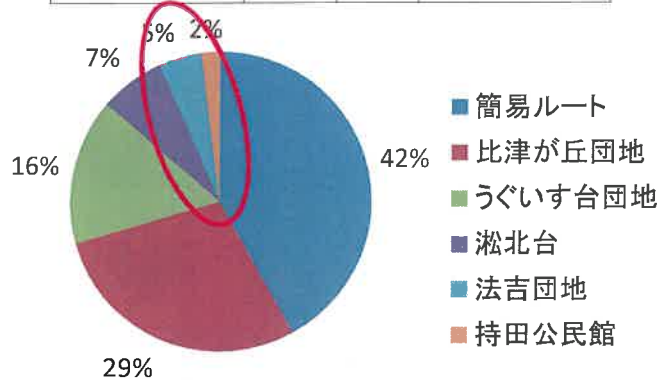
5.1. 調査結果



- 利用者から好評
- 運行ルート「悪い」回答ゼロ

循環型サービスの有用性有

実施地域	件数	割合	平均利用者数
簡易ルート	101	41.91	8.42
比津が丘団地	69	28.63	3.63
うぐいす台団地	38	15.77	3.45
湍北台	17	7.05	8.50
法吉団地	11	4.56	1.22
持田公民館	5	2.07	5.00
合計	241	100	4.46



・ 湍北台

- ・ 関心が高い
- ・ 高齢者の割合が高い



利用者数が多かった

・ 法吉団地

事前調査: 38.6%

循環型: 4.56%



- ・ 普通免許所持率が高い
- ・ 高齢者の割合が低い

高齢者の移動手段としての需要有

・ 時間帯別外出目的

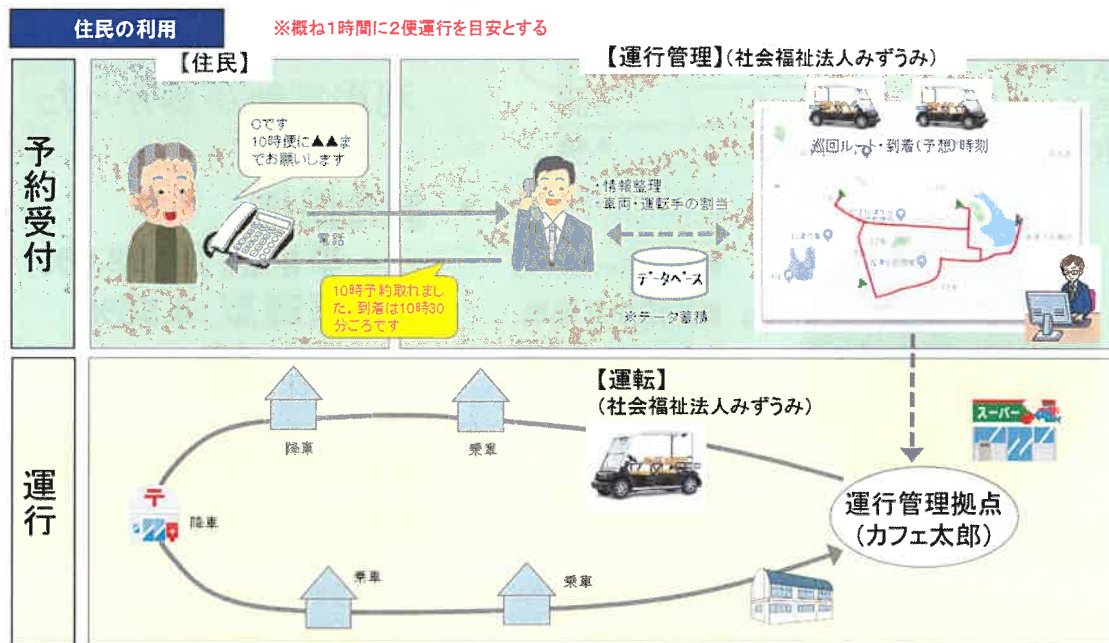


午前9時、午後13時に
買い物の割合が高い



この時間帯の循環型の
サービス提供

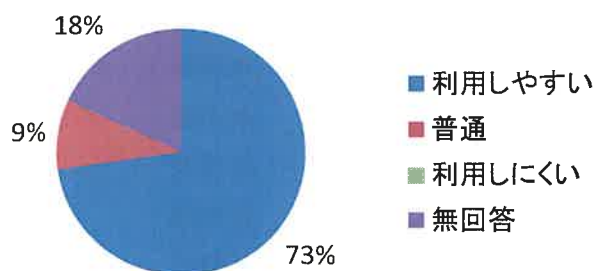
6. デマンド型実証実験



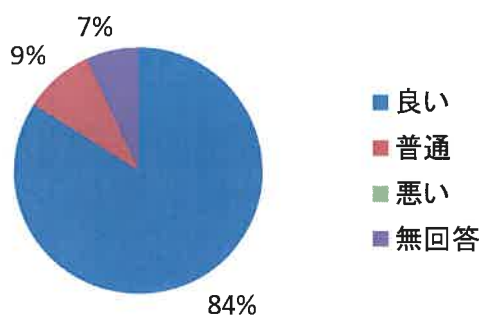
- 循環型と同じ地域で、予約制

6.1. 調査結果

利用のしやすさ



到着時間



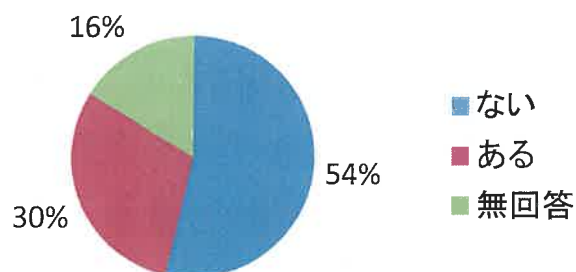
- 利用者から好評
- 利用のしやすさ、到着時間ともに「悪い」回答ゼロ



デマンド型サービスの有用性有

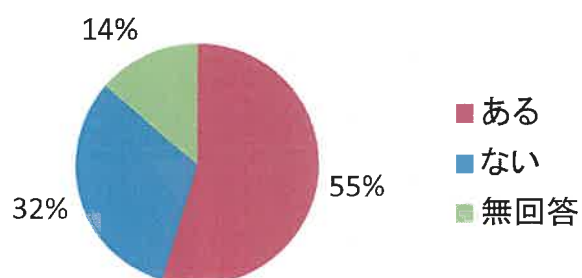
- 日常の移動の際に交通手段がなく困ったことがあるか

循環型

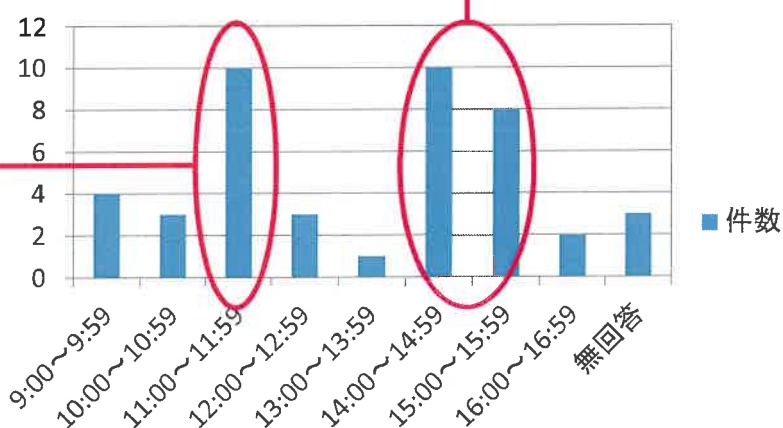


困ったことがある: 30%

デマンド型



困ったことがある: 55%



循環型と同様に買い物目的



この時間帯は循環型のサービス提供

14時~16時は買い物目的以外の利用者が多い



この時間帯はデマンド型のサービス提供

7. まとめ

- イベント型、循環型、デマンド型のいずれも好評
- 子供から高齢者まで広い世代に関心を持ってもらえた
- 新たな移動手段としての適用性があると判断できる

《本格運行に向けて》

- 運用方法、運行ルート、実施地域等
- 周辺のお店との連携